

F. Chopin



日本ショパン協会北海道支部
創立 50 周年記念誌

50th Anniversary

～日本ショパン協会北海道支部創立 50 周年～

Contents

03 日本ショパン協会北海道支部創立 50 周年記念誌発行に寄せて
…………陣内 尚子

04 支部沿革 ～日本ショパン協会北海道支部のあゆみ～

05-10 50 周年に寄せて ご祝辞

11-21 50 周年回想録

座談会 創成期と遠藤道子先生の思い出、そして今後へ

- ・創成期の思い出
- ・遠藤道子先生の思い出
- ・コンクールについて
- ・コンクールの将来と未来への展望

寄稿文 黒川武先生の思い出

23-71 北海道支部 50 年の軌跡 ～日本ショパン協会北海道支部例会記録～

73-99 北海道ショパン学生ピアノコンクールのあゆみ

- ・受賞者一覧
- ・コンクール課題曲 (第 1 回～第 22 回)
- ・審査員一覧

101-103 日本ショパン協会北海道支部

- ・日本ショパン協会北海道支部について
- ・日本ショパン協会北海道支部 会員名簿

104 編集後記



日本ショパン協会北海道支部 支部長
陣内 尚子

日本ショパン協会北海道支部創立 50 周年記念誌発行に寄せて

支部 50 周年の歴史を整理し記念誌として後々の会員に残すことと致しました。初代の遠藤道子先生が支部長でいらした頃は今から考えると豊かで平和な時代でした。とはいえショパンの全曲演奏が支部会員によって 5 年掛かりで行われたことは、遠藤先生の大変なご苦勞の賜物であり、大きなご功績でもありました。2006 年に黒川武先生が支部長になられた頃、世の中は少し下り坂で集客力の見込めるコンサートの企画にテーマを考え知恵を絞っていらっしゃいました。2013 年に私が支部長となり、状況はあまり変わりませんでした。やはりテーマ性を持ったコンサートを開催したいと願って黒川先生にご相談したりしていました。

50 年は長い年月ですが、初めのころからの会員が沢山いらっしゃるの、あまり実感がありません。これから我々世代がなすべきことは 若い会員に積極的な活動をして貰うために、魅力的な企画をしっかりと考えて世代交代に備えることだと思います。この先、50 年、100 年と支部が発展し、若い会員が支部の歴史を知るために北海道支部創立 50 周年記念誌の詳細な記録は大変貴重な財産となることと思います。

記念誌作成に関わってくださった実行委員会の皆様、委員会をささえ、大変なお力添えをくださった河合楽器製作所北海道支店札幌店の皆様に心から御礼申し上げます。

支部沿革 ～日本ショパン協会北海道支部のあゆみ～

1973年2月1日	北海道支部創立 初代支部長 遠藤道子
1980年	北海道帯広地区委員会発足
1983年	北海道函館地区委員会発足
2006年	支部長交代 第2代支部長 黒川武
2011年	北海道帯広地区委員会解散
2013年	支部長交代 第3代支部長 陣内尚子

※支部立ち上げについて「創立」「設立」「創設」などの表記が使われてきました。
このたび、記念誌を作成するにあたり、『創立』の表記に統一しました。
例会名称として使われているものについては当時の表記を尊重しています。



50周年に寄せて
ご祝辞

日本ショパン協会 会長

海老 彰子



北海道・札幌ショパン協会支部が創立50周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます！謹んで心からお祝いを申し上げます。長きに亘っての御活動が札幌を中心としての北海道の音楽的水準向上に貢献しておられる事は明瞭であり、心から称賛の念をお送りします。

札幌のピアノ界を精力的に率いておられました遠藤道子先生の事は広く知られておりますが、その昔、東京に在る日本ショパン協会会長でおられた音楽評論家の野村光一氏からの強い要請で、1973年に遠藤道子先生が奔走され、この札幌北海道支部が創設されました。以前から札幌には素晴らしいピアノ教育の素地が芽生えていましたが、組織を創られたおかげで、更にその音楽的水準を上げられる原動力になったのではないのでしょうか？

20年以上に亘って支部長を務められた遠藤先生の後も、現在の陣内尚子先生に至るまで歴代の支部長先生方はじめ皆様のご尽力は筆舌に尽くし難いものであった事でしょう。常にカワイ楽器さんの後援を受け存続するショパン協会、この二人三脚は貴重な宝を創り続けています。コンクールを創設されたり様々な活発な音楽活動のお蔭で、小さな子供達から大人に至るまで、優秀な若いピアニスト達が多く育っておられ、今後の子供達の成長が益々楽しみです。

ショパンはあの若年にしてピアノと言う楽器を縦横無尽に駆使し、音楽を通してあくまで美しく深く、人がその心の奥に秘める感受性を表現する大天才の作曲家でした。ショパンを勉強する事は、同時にピアノをより良く演奏するスキルアップに繋がる事は誰しもが認める所です。

札幌ショパン協会支部の更なるご発展を心から祈ってやみません。

日本ショパン協会 副会長

植田 克己



日本ショパン協会北海道支部が創立50周年を迎えられましたこと、心からお慶び申しあげます。

現在の北海道の洋楽志向と隆盛は明治維新以降の開発の歴史と深くかかわっています。折しも文明開化の波が同時に押し寄せてきました。札幌の都市計画で冬の自然に合わせて道路の広い碁盤状態に仕立てられたのはまことに画期的で、北海道各地の都市計画の手本になったようです。古い写真には洋風の建築物も写っています。教育についても札幌農学校が創設され、ケプロン博士、クラーク博士などを招き、気候風土を考えた上で教育で欧米の考え方、進め方が直接取り込まれたことでしょう。その影響は意気軒高な若者たちばかりでなく、同僚となった日本人の教官など知識層にも広く及んだと考えられます。

音楽でも市井のお琴、三味線などのいわゆる邦楽の古くからの楽しみと共に、欧米人が親しんだ洋楽器が日本の各地よりも早くに持ち込まれたことも想像に難くありません。北海道帝国大学にオーケストラの前進が発足したのが1921年（大正10年）ですが、これまた洋楽の大きな柱の一つで、それが戦後の札幌交響楽団の創立につながります。

前置きがとても長くなりましたが、学校教育のオルガンの普及と相俟ってピアノも普及し始めて、北海道の近年その高まりは目を見張るほどです。その大きなお力の元のお一人が北海道支部初代会長の遠藤道子先生でしょう。たくさんの優秀なお弟子さんを育成され、熊谷玲子先生ら他の先生方と一緒にショパン協会の発展継続にご尽力なさり、また沢山の役職を託されて広く北海道のピアノ、音楽文化全般の普及と向上に先頭に立って尽くされました。お元気だった頃に、多くの外国人のピアニストを招聘なさり、演奏会や公開レッスンを開催されて、本場の音楽の素晴らしさを知らしめていただきました。ショパンの故郷ポーランドとの橋渡しをなさっていらしたのも極めて大切なことと覚えております。

現在の北海道支部会員の皆様におかれましては、陣内尚子先生の元で一致協力して会の発展をされること、広く次世代の若者たちがショパンの音楽と、彼がこよなく愛し全身全霊を捧げて親しんでいただくよう進めて行くこと祈念して、ご挨拶に代えさせていただきます。

日本ショパン協会 前会長・顧問

小林 仁



日本ショパン協会北海道支部創立50周年記念によせて

日本ショパン協会北海道支部は、1960年、ショパン生誕150周年を記念して日本ショパン協会創立後、13年を経過して北海道支部が創立されました。それから50年、ショパンの音楽の普及活動、正しいピアノ奏法、解釈など多方面にわたって活動を続けて来られました。北海道は広いのでその後、函館、帯広にも地区が設けられてさらに充実したものとなりました。

その間、ショパン学生コンクール、内外著名講師によるショパンに関するコンサートや公開講座、公開レッスンなど幅広い活動を繰り広げられて、北海道におけるショパンの音楽の普及度は急速に広まりました。また、東京本部やワルシャワのショパン協会本部とも緊密な連携のもと、絶えず新しいショパンの風を吹き込まれております。

私は日本ショパン協会会長の時代を中心に、北海道支部にはたびたび足を運び、たまたま札幌大谷大学の芸術学部長として札幌に8年間赴任したことも相俟って、北海道支部とは緊密な関係にありました。

しかし、なんといっても、札幌市在住のピアニストやピアノの先生、評論家の方々の多大な御協力とカワイ楽器札幌の全面的強力なしには成り立ちませんでした。このように北海道には確固としたショパンの音楽が根付いたことは誠に喜びにたえません。

ここに日本ショパン協会北海道支部創立50周年の節目の年にあたり、心からお祝い申し上げると同時に、さらに次なる100周年に向けて発展、充実した活動を続けていかれることを願ってやみません。

株式会社 河合楽器製作所 代表取締役会長兼社長

河合 弘隆



日本ショパン協会北海道支部 創立50周年誠におめでとうございます。

50年と申しますと、ちょうど私が日本ショパン協会に参画させて頂いた頃です。入社したてでショパンについての知識もなく生産部門に入り、ピアノ作りを学び始めた頃でした。

カワイもショパン国際ピアノコンクールに参画するために、色々な準備をしており、コンクールを通じてピアノの品質向上を目指しておりました。

その一環として、1980年にワルシャワを訪れコンクールを拝見しました。

河合滋前会長がコンクールを拝見し「あのステージに我々のピアノをのせよう」と申し、その場で工場に電話をかけ技術部門や工場長らを鼓舞いたしました。

私もそれまで工場でピアノ作りを学び始めておりましたが、次のコンクール(1985年)を目指して生産部門の者たちと一緒に様々な角度から勉強させて頂きました。それはただ単にステージ上のピアノのコンディションだけでなく、メンテナンスについても多くの事を学び勉強しました。

今日のように環境が整った時代ではなかったもので、様々な経路を経てワルシャワに至りますので、多くの経験を積み重ねました。

そうした全社員の努力が実り、5年後(1985年)のコンクールには念願が叶いステージにカワイのピアノを乗せることが出来ました。あの感激から40余年、2021年のコンクールでは2名のファイナリストが演奏をして下さいました。

またYouTubeを通して、世界中の視聴者が会場の雰囲気を感じるとともに、世界中でリアルなピアノ音を聴いて下さることになり本当に感激致しました。

また河合滋前会長はよく北海道の遠藤道子先生、郁子先生をご訪問させて頂きご指導も頂いておりました。今そうしたことが走馬灯の如く思い出されます。

長きにわたり、日本ショパン協会の活動にご尽力いただきました事に心より感謝申し上げますとともに、貴支部のますますのご発展を祈念致します。

北海道新聞社 執行役員事業局長

近藤 浩



日本ショパン協会北海道支部が創立50周年を迎えられましたことに、心からお祝いを申し上げます。また、貴支部の役員、会員の皆様が、永きにわたり北海道の音楽・演奏活動の普及・発展に寄与されてこられました軌跡に、心より敬意を表します。

貴支部創立の1973年を振り返ってみますと、札幌オリンピックが成功した翌年ながら、国内では、石油ショック、物価急上昇を背景に省資源・節約時代を迎える一方、小澤征爾氏のボストン交響楽団常任指揮者就任、江崎玲於奈氏のノーベル物理学賞受賞といった日本人の活躍が人々に広く勇気と希望を与えた年でもありました。

まさに世の中がさまざまに変わっていくなかで、日本ショパン協会北海道支部は創立されたわけです。以来、半世紀に渡り交流と親睦を深め、豊かな地域文化社会と人間関係の形成に大きく貢献されてこられたことに深い感慨を覚えます。

1978年から隔年で貴支部と当社が共催する「北海道ショパン学生ピアノコンクール」では、大会の運営全般にわたり多大なご尽力を賜りながら継続開催させていただいており、衷心より感謝を申し上げます。

最後になりますが、日本ショパン協会北海道支部の今後一層のご発展、ご活躍と、皆様のますますのご健勝を祈念し、創立50周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

50周年回想録

座談会 創成期と遠藤道子先生の思い出、
そして今後へ

寄稿文 黒川武先生の思い出

座談会

～創成期と遠藤道子先生の思い出、そして今後へ～

座談会出席者： 陣内尚子（日本ショパン協会北海道支部 支部長）
山岡望（同 副支部長）
永井洋恵 名取百合子 松原喜子 若狭律（同 札幌会員）

司会： 水田香（同 副支部長）

2022年11月1日

於 カワイ札幌コンサートサロン「ChouChou」



後列左から 名取百合子、松原喜子、永井洋恵
前列左から 陣内尚子、山岡望、水田香、若狭律

水田：皆様、お忙しい中お集りいただきましてありがとうございます。今日はショパン協会北海道支部の1973年の創立ののち、10年くらいの創成期がどのような様子であったか、初期の例会がどのようなものであったか、そして創立された遠藤道子先生の思い出についてなどお話いただければと思います。後半では協会の柱ともなっている北海道ショパン学生コンクールについて、そして若い方たちへ期待することをお伺いできればと思っております。

創成期の思い出

水田：創立時の事情というのが我々はほとんどわかっておりません。『母、遠藤道子と私』という（遠藤）郁子先生の手記がありますがその中に“日本ショパン協会は本部が東京にあり、その後、昭和48年に当時の会長、野村光一氏の要請で母が北海道

支部を立ち上げ…”とあります。そのあたり陣内先生は何かご存じないでしょうか。

陣内：私は創立の時には（協会に）いなくて知らなかったのですが、この前、郁子先生とお電話でお話したときに、やはり野村光一先生の要請があって、野村先生と西塚さんという当時のカワイの事務局長さんが札幌にみえて、ぜひ作るように、ということかなり強力なお話があった、とのことでした。それがまずきっかけだそうです。

水田：札幌に来られることになったきっかけというのは、その前に何かあったのですね。

陣内：1965年に郁子先生がワルシャワのショパンコンクールを受けられたそうです。その時に遠藤（道子）先生も一緒にポーランドにいらっしやっていて、おそらくそのあたりからワルシャワのショパン協会の発足にかかわる方たちとか、東京の

ショパン協会の方たちとのかかわりが遠藤先生にできていらしたのではないかなって思います。その後、創立からそれほど長い時間がたないうちに遠藤先生から「入りなさい」とお話があって高岡（立子）先生と二人で入りました。その時はそんなに大勢ではなかったのですが、黒川（武）先生とか横谷（暎司）先生とか、熊谷（玲子）先生もいらっしやいました。林靖子先生は最初からだったか途中からだったか…。

水田：資料によると最初からいらっしやいますね。坂本（慶子）先生、沼田（元一）先生も。

それでは初期のころのお話を伺います。永井先生は遠藤先生とかなり近くいらしたのでその辺のお話を聞いていただけますか。

永井：最初の頃、松原先生と私は『あなた達は下働きしなさい』と言われて細かなこと全部をやっていました。なんという立場の名前か知りませんでした。今、資料を見ると代表委員といったんですね。その代表委員を10年以上やっていました。8台とか10台のピアノとかやった頃です。プログラム作りもしました。いつも先生がお持ちだったショパンの顔とか生家の絵や写真を使うように、と。それと「プログラムはポーランドに送るので原語で書きなさい」と言われました。それがわからなくて…。必ず日本語と原語で書いていました。ポーランド語だったのか英語だったのか忘

れてしまいましたが。



ショパン全曲演奏シリーズNo.1
1983年9/20(土) 6:30P.M.
札幌市工芸プラザホール 5:00～5:30(12F)
主催 日本ショパン協会北海道支部札幌
後援 北海道新聞社・札幌市音楽協会

水田：そうですね。それはお二人だけで。
永井：そうですね。二人だけで10年以上やっていたので大変でしたね。北海道支部の例会というのは遠藤先生の頭の中では分けて考えられていました。レクチャーとか公開レッスンのようなものと、地区委員（現在の会員）が活動するショパン全曲演奏のようなものと、何だかそういう風に分けていらっしやった。

松原：どちらがどちらで、とはあまり理解はしていなかったのですが、長くはやっていましたね。

永井：当時はとにかくレクチャーとか公開レッスンが多かったですね。

若狭：そうでしたね。私も最初、遠藤先生からお誘いいただいて渡辺卓先生と協会に入ったように思うんですけど、それからすぐに第2回例会で野村光一先生のコンサートレクチャーがあって出演いたしました。

永井：普段接することができないような一流の講師がいらしていました。共済ホール

をよく使っていましたね。

若狭：そう。それでいつも会場は教えている人たちとその生徒さんという感じのお客さんでいっぱいでしたね。

名取：かでる（かでる2・7ホール）もよく使いました。

陣内：道新ホールも多かったです。道新がスポンサーで共催ですから。井口基成先生がコンクールの審査にいらしたときも道新（ホール）でしたね。当時、レクチャーとか公開レッスンというものは札幌ではそう多くはなかったですから、大体出かけていました。遠藤先生の主催となると行かなくちゃ、というのもありましたし。

水田：例会資料によるとショパン協会の主催ではあっても、そんなにショパンに拘らないプログラムだったようですね。ニコライエワ先生はバッハでしたし。コンラート・ハンゼン先生の公開レッスンは私もブラームスのスケルツォで受けました。第1回例会の田村宏先生のリサイタルに始めて、その後、野村光一先生、井口秋子先生、伊達純先生、海外からはレギナ・スメジャンカ、ヤン・エキエルなど大物の先生がいらしています。札幌に音楽の基礎を作るべく、色々な世界的な先生をお呼びして、みんなに広めたい、といったような意図があたりだったように感じますね。（一同、うなづく）ほかに何かご記憶に残っていることはありますか。

若狭：思い出というと、どこのホテルだっ

たかは忘れてしまったのですが、マズルカの全曲演奏会をしたことです。その中で最初に弾かせていただいた記憶があります。

松原：一番思い出すのは（20周年ショパン音楽祭の）10台のピアノですね。あれはカワイのショールームでした。10台の合わせをしたときは本当に感激でした。本番よりも練習のほうが楽しかった、面白かった、と強く記憶に残っています。

名取：私も10台のピアノは記憶があります。前のカワイでしたね。ピアノがいっぱい並ぶ中でワイワイ言いながら皆さんと演奏したのが楽しかったです。

陣内：ピアノがいろんな方を向いていて他の方がどこにいるんでしょう…って見えな



遠藤道子先生の思い出

水田：第28回例会のショパン全曲演奏シリーズがありましたね。これがシリーズの1回目で永井先生と松原先生がご出演されていますのでお話お聞かせいただけます

か。

永井：京王プラザホテルでしたね。先生が曲を選んで…自分の意志ではなかったような気がします。

松原：そう、決められていましたね。

水田：それは皆さんの特徴をよく把握していらした、ということですね。

若狭：それは本当にびっくりしました。私の時はシリーズの3回目でしたけれど、突然お電話があって「よく伴奏なんかしているからこの曲なんてよくうたえるでしょ」って。

永井：その時は終わってからパーティーでした。司会を先生がされたんです。京王プラザの結婚式場に舞台を作って、こういうことをしたことがないから、とすごく喜んでいらした。すごくエネルギーをもってやっていた。

水田：このショパン全曲演奏シリーズをその時の1回目から何回になるのか、全曲やろうと企画されたそのエネルギーがどこから出てきたのかお聞きしたいです。

永井：なんだかいつも、これをやるわよ、次は10台のピアノをやるわよって。

水田：先生の頭の中に企画が出来上がっていて、それを1回ずつやっていった、という感じでしょうか。すごいビジョンがありますね。

永井：そう。先生が一番エネルギーギッシュでした。そして東京より先にする、みたいな感じでした。東京のショパン協会にかなり

意識がありましたね。先生はそのこの理事をなさっていて。プログラムのお祝いの言葉に東京より活発に活動していますね、みたいな言葉をもらっていました。

名取：そしてすごく人脈があたりでした。



水田：あ、そうですね。こんなにたくさんの方の先生をお呼びしたり、オーケストラも頼んだり、それは普通、個人ではできないことですね。先生はポーランドに行かれて何か目標をもって帰っていたのではないのでしょうか。

陣内：きっとあったと思います。大きなきっかけになっていたと思います。先生は何でもご自分一人でお決めになって、その後は「あなた、やりなさい」というのはお得意でした。組織を作って協議して、のようなことは面倒で苦手なので「私がやるわ」って。だから、皆さん遠藤先生が怖いっておっしゃっていましたが、とても家庭的な面もありました。

永井：面倒見がいいんですよ。

名取：昔、中学生くらい、まだ札幌に学生

コンクールの北海道大会がないころ、全部東京に受けに行っていたんです。その時に東京の先生のお宅にレッスンに伺って、その時に鰻をとってくださって。そして会場の銀座ヤマハと一緒に行ってくださった。ベートーヴェンのソナタだったんですが、全音の分厚い楽譜を「あなた、コンクール前で重たいんだから」って楽譜を持ってくださった。そういう面倒見の良い先生でした。

松原：私は遠藤先生とはあまり接触がなかったんですが、ショパン協会が始まってから割とお話しするようになりました。たくさんの演奏会（例会）が始まって永井先生とお仕事を与えられまして、色々なことを教わりました。とても筆まめな先生で何をやっても必ずお葉書下さるんです。素晴らしいなと思いました。お料理がとてもお上手でたまに（永井先生と）二人でいただいているいろいろなお話をしました。ご主人様もお話に加わられたりして、そんな記憶があります。

陣内：思い出といえば、こどものころから遠藤先生のところにレッスンに行っていました。先生がお雑巾を出しておいてくださって、学校からまっすぐ行くので足が汚いものですから…（笑）それから、私の一番下の妹と郁子さんの歳が近くて、淳一郎さんとお隣の伊藤さん（伊藤義郎氏）のお庭に潜り込んで遊んでますよね。そして蜂に刺されて3人で泣いて帰ってきて、先

生がアンモニアかなんかを塗ってくださってね。いやな顔をなさるでもなく、「しょうがないわね」とかなんとか言いながらとても優しくして下さるんですよ。妹はいつまでも蜂に刺されてお薬つけていただいた、と言っていました。私が東京に行っても、先生はいろいろな時にお手紙をくださいました。私がつたない手紙を出しても、ちゃんとそれにお返事を下さって、嬉しかったという思い出があります。



コンクールについて

水田：コンクールについてのお話を伺います。コンクールの第1回が例会の第16回にあたり、1979年となっています。創立からだいぶ経ってからということになりますね。

陣内：毎日コンクール（現在の『全日本学生音楽コンクール』の前身）というのが既にありましたでしょ、毎日新聞の。それがしっかりと1位、2位と、いかにも競争している感がありました。ショパン協会はさすがすぎしないコンクールにしたい、という先生の想いをお話になられて、それからコ

ンクールをしましょう、ということになりました。最初のコンクールの後、これを毎年するか、一年おきにするかという協議をした覚えがあります。長い机のある会議室で先生たちがたくさんいらっやった。いろいろなご意見が出されて、その時から一年おきにしましょう、と決まりました。

水田：そうだったんですね。私の思い出で言いますと、ショパンコンクールはとても厳しいみたいな感じがありましたけれど、何か音楽的な内容を含んだ競争だけではないものを目指して作られたということなんですね。

陣内：遠藤先生はそういうものを願っていました。

水田：初めてお聞きする事情です。課題曲も全部、遠藤先生がお決めになっていたのでしょうか。

陣内：そのころはもう少し何人かでお考えくださっていて、黒川先生も重要なメンバーだったんじゃないかと思います。その後、黒川先生が支部長になられてから実行委員会が出来ました。

水田：なるほど、それからは組織で色々と案を出して決められたんですね。

名取：ショパンコンクールは生徒にとって、他のコンクールより少しグレードアップしないと受けられないというイメージがありますが、それに向けて受けられるようになりたいという目標をもって生徒と一緒に一生懸命やっています。北海道には今、

たくさんコンクールがあって、小さいうちからコンクールにも慣れてきていますけれど、ショパンだけのコンクールっていうのは他にはないですから貴重ですよ。



山岡：それに関連して子供の頃のことを思い出されました。小学校5・6年生の頃、同級の仲良しの友人が遠藤先生門下でした。私が子供の頃はブルグミュラーとかソナチネとかメンデルスゾーンの無言歌とかが主流だったと思います。今でこそいろいろな曲を子どもたちに弾かせるけれどあの頃はあまりなかったんです。それでその友人が遠藤先生からショパンの曲をもらっていて、いつもショパンを弾いていて羨ましいなと思っていました。あんな曲を弾いてみたいと思ったけど、私はあまりショパンに接する機会がなかった。だから子供心にショパンっていうのは素敵で弾いてみたい曲なんです。やはり子どもたちにそういう課題があるのはいい財産になるかなと思います。

名取：ショパンコンクールっていうと憧れ

の存在でしたね。

コンクールの将来と未来への展望

水田：コンクールのお話を続けます。今年のコンクールで新設された3・4年生の部、それから一般の部もありましたが、それについては、何かご感想ありますか。

陣内：今年のショパンコンクールを聴いて3・4年生のあれだけの課題曲を決めてくださるのがどれだけ大変だったか、と思いますけれど、予選、本選を通して本当にいい曲だったなあ、ととてもありがたく思います。一般の部については思ったほど（参加者が）多くなかったのちょっと残念に思いました。ショパンの曲に親しんでくださる方が増えるように私たちも勧めるようにしないと広まらないのかしら。

水田：あの年代になるまでにたぶんそれぞれの方がたくさんショパンの曲を弾かれました。ただ参加人数が少なかったのはどこがネックだったとお考えですか。たとえば宣伝が足りなかったでしょうか。

陣内：そういうこともあるかもしれませんが。会員の先生方が声をかけてくださると考えるきっかけになると思います。アマチュアの方でもしっかりひかれる方もいらっしゃるよ。そういう方が本選まで行かなくても予選だけでも楽しめるとそれはそれでいいのかなとも思いますね。

若狭：最近若いアマチュアの方でも演奏会が簡単にできるようになっています。

50年前は偉い先生に頼りましたが、今は小さなホールもあるし印刷も簡単にできるので。本当に趣味の方でも人前で弾きたいという人が増えているのでそういう方に参加してもらえるといいですね。これまでの学生ショパン（コンクール）のレベルとの折り合いなどあるとは思いますが。

水田：貴重なご意見ありがとうございます。今後、検討していきたいと思います。最後に今後に期待すること、ご提言などございましたらお願いいたします。山岡先生、如何ですか。



山岡：全曲演奏シリーズで遠藤先生から「弾きなさい」といわれたのがベルスーズとバルカローレと幻想ポロネーズでした。えっ！って思ったんですけど、できませんとも言えずにお引き受けして、泣きそうな感じでした。今になって思えば、あの時あれだけ勉強させていただいてすごくいい財産になったと思っています。ですので、若い方々には、何かそういった機会があったらよい思い出になると思います。

水田：ありがとうございます。では永井先生、お願いします。

永井：前にやったような『全曲演奏シリーズ』をずいぶん時間がたっているので、またお若い方々がやってもいいのかなと思います。マズルカの全曲演奏なども。以前のマズルカの全曲演奏会の時にも、遠藤先生にどの曲がいいでしょうか、と伺うと「しょうがないわね、マズルカを全部お聴きなさい。それが勉強でしょう。」と言われてました。10台のピアノなんていうのは大変でしょうけれど、全曲演奏などは良いかなと思います。

陣内：遠藤先生がとにかくショパンが好き

で好きで、ショパン協会の北海道支部をお作りになったんです。とにかくショパンの音楽が美しい、その美しいことをとても大切にしていることからテクニックをさらうということができていく。先ほどからもお話が出ているようにショパンを大切に思う若い方々が増えてくれること、そしてショパン協会に皆さんがかかわってくださることを願っています。

水田：たくさんの貴重なご提言もいただきましたので、今後の協会の活動、在りかたを考えていく際の参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございました。





「支部長・黒川武先生の思い出と支部長を引き継いで思うこと」

日本ショパン協会北海道支部 支部長
陣内 尚子

遠藤道子先生が1973年に日本ショパン協会北海道支部を創立され、支部長として北海道支部の形を作り上げられました。創設の時から副支部長として遠藤先生を支えて来られた黒川先生が遠藤先生退任後、2006年から2013年まで支部長を務められました。その時、副支部長に私が任命され、黒川先生の下で支部行事のお手伝いをしました。

黒川先生はとても穏やかな方でコンクールやコンサートの実行委員会でも皆の意見を静かに聞いていらして最終的にはスパッと決断なさる方でした。

事務局からの会費の滞納について相談があった時も退会勧告をしてはどうか、という意見もありましたが、先生は「忘れていくということもあるから再度注意喚起をしてください、あまり ぎすぎす するのはどうか…穏やかに行きましょうよ。」の一言でその話はなくなりました。

支部のコンサートの曲目解説はずっと黒川先生がお書きになりました。またコンサートを開催しない年には先生のレクチャーが行われ、英語に堪能でいらした先生は世界の多くの文献を読み込んで会員に紹介してくださいました。

先生はアイデアマンでコンサートのテーマは先生の発案によるものが数多くあり、支部長を退任なさってからたくさんのテーマを提案してくださいました。

私が支部長を引き継いで考えたのはこの支部が目指すべきことは何か、ということでした。今はショパンの音楽の美しさ、厳しさと各自が向き合い 演奏を通して表現する集団として存在すること と思っています。それでも黒川先生がおっしゃった様に穏やかな、緩やかな集まりでありたいと思います。

この度黒川先生の思い出を書くことになり思い出すことが沢山あり、改めて懐かしさと共に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

黒川先生 ありがとうございました。



「黒川武先生を偲んで」

日本ショパン協会北海道支部 札幌会員
濱田 典子

令和3年に天に召された黒川先生に、私は10歳頃から師事しました。師と弟子の関係はなんと55年にも及び、多くの教えは私の音楽的財産とも云うべきものです。

皆様も御存知の通り、黒川先生は知性と優しさの人でした。レッスンでは何より基本を大切にされており、丁寧な読譜・理に敵った指使いの選択・曲想や時代性に相応しい表現の追及、等々多くの学びがありました。

私が指導者となり生徒たちのレッスンをお願いする様になると、指導者とは如何にあるべきかについて、間接的アドバイスを頂いていた様な気がします。ここからは、黒川先生の御発言の幾つかを御紹介します。

1. 拘りについて…「人にものを教わると云うのは、その人と同じ拘りを持つ事なんだよ。」黒川先生は恩師の高折官次先生から、指使いの事で沢山のアドバイスを頂いたそうです。私の楽譜には黒川先生直筆の指使いが書き込まれており、それらは大切な宝物です。
2. 練習について…「可能な時間の半分をピアノの練習に、残りは読書やレコード鑑賞に充てるべきだよ。」つまり、演奏には感性と知性の両方が必要とのお考えでした。
3. 選曲について…「ショパン学生ピアノコンクール」の課題曲選曲に際し、「どの曲を弾かせるかより、どの様に弾かせたいかが指導者には問われるんだよ。」

天国の黒川先生、どうぞ北海道の音楽界を見守っていてください。



北海道支部 50 年の軌跡

～日本ショパン協会北海道支部例会記録～

北海道支部 50年の軌跡

1973 | 2022

※例会の回数表記は1983年までに資料によって食い違いが見られますが、プログラムに掲載済みの表記を優先することにいたしました

1973

札幌

2.10
共済ホール

第1回 創設記念演奏会 田村宏 ピアノリサイタル

7.20
共済ホール

第2回 野村光一 コンサートレクチャー
ショパンの様式研究

10.19
共済ホール

第3回 井口秋子 ピアノ公開レッスン

1974

10.2
共済ホール

第4回 伊達純 ピアノリサイタル

11.16
共済ホール

第5回 レギナ・スメジャンカ ピアノリサイタル

11.17
自治会館ホール

第6回 レギナ・スメジャンカ ピアノ公開レッスン



006



1975

1.20
共済ホール

第7回 高岡立子 ピアノリサイタル

6.15
国際ホテル

特別例会 モレイラ・リマと語ろう

10.29
共済ホール

第8回 永富和子 ピアノ演奏と公開講座

1976

4.27
共済ホール

第9回 園部三郎 コンサートレクチャー
ショパンの様式研究

11.16
共済ホール

第10回 ヤン・エキエル ピアノリサイタル

1977

4.26
共済ホール

第11回 佐藤允彦 コンサートレクチャー
ショパンの源流をたづねて

10.24
共済ホール

第12回 熊谷玲子 ピアノリサイタル

1978

5.30
共済ホール

第13回 遠山一行 コンサートレクチャー

11.4-5
北海道新聞社ホール

第14回 第1回北海道ショパン学生ピアノコンクール

第1回 田村宏 ピアノリサイタル

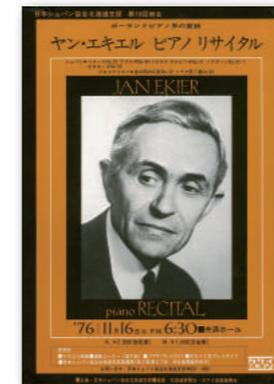
支部創設記念演奏会と銘打った第1回例会は、田村宏ピアノリサイタルでした。田村宏先生(1923～2011)は戦後間もなくデビューされ、その後日本を代表するピアニストとして活躍されました。東京藝術大学で教授を勤められ、屈指の指導者としても知られていました。北海道出身の門下生も多く、厳格な指導について耳にすることもありました。日本ショパン協会理事として、第4回北海道ショパン学生ピアノコンクール本選でも、特別審査員を務められています。札幌大谷短期大学(当時)では特別講師として指導されていたこともあり、北海道のピアノ教育にも寄与していました。

当夜のプログラムは、3曲のスカルラッチィのソナタ、ベートーヴェンの“熱情”ソナタ、ブラームスの7つの幻想曲 Op.116、ショパンの24のプレリュード Op.28でした。

プログラムには、矢代秋雄氏による『透き通るような音色、完璧な技巧、清潔なよく統御された表現』との評が記されています。その演奏会の様子を記憶する会員は、残念ながらほとんどおられなくなりましたが、北海道支部の幕開けを飾る演奏会であったと推察されます。(記:大川直美)



第10回 ヤン・エキエル ピアノリサイタル



010

1979

8.10
共済ホール

第15回 第1回北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞者発表演奏会

塚原 恵美子

第1回北海道ショパン学生ピアノコンクール受賞者発表演奏会が、1979年8月10日(金)に札幌共済ホールで開催されました。前年の1978年は北海道ショパン学生ピアノコンクールがスタートした記念すべき年で、コンクール会場の北海道新聞社ホールは、第1回にもかかわらず多くの参加者や聴衆で溢れていました。想定を上回る参加者だったためか、予選ではステージ上にパイプ椅子を並べ、次の演奏者2名が座って順番を待っていたほどでした。また、第1回のコンクールのみ予選の翌日が本選でしたので、参加者は万全な準備で臨みました。



この日の受賞者発表演奏会には、小学生の部・中学生の部・高校生の部の金賞と銀賞の受賞者、計6名が出演いたしました。出演者はコンクールで演奏した曲に、他のショパン作品を1曲～複数曲加えていて、一人10～20分という充実したプログラム構成でした。会場が終始、聴衆の温かく大きな拍手に包まれていたことを懐かしく思い出します。

015

10.22
共済ホール

第16回 コンラート・ハンゼン ピアノリサイタル

10.23
共済ホール

第17回 コンラート・ハンゼン ピアノ公開レッスン



016

1980

4.18
共済ホール

第18回 遠藤郁子 ピアノリサイタル



1980年4月18日札幌共済ホールにて「遠藤郁子ピアノリサイタル」が開催されました。プログラムはマズルカ全曲演奏でした。

ご自身のプログラムノートによると留学先のポーランドに20才から7年間を過ごし、師であるステファンスキ先生からは熱心なご指導を受け、特にマズルカにおいては大変熱の入ったレッスンで、常に「踊るように!」と大きな体をゆずってはリズムをとって見せて下さったと記されており、マズルカの難しさが綴られています。

当夜は最初のマズルカ作品6から始まり、絶筆となる最後の作品68に至るまでの全曲をショパンの生涯の日記のように一曲一曲を、ショパンを想い、ポーランドを想い、熱い心を持って演奏され、聴衆も感慨深い心に残るものとして、いつまでも余韻に浸っていた事と、記憶しております。(記:横路朋子)

第19回 第2回北海道ショパン学生ピアノコンクール <予選>

第20回 安川加寿子 ピアノリサイタル

第19回 第2回北海道ショパン学生ピアノコンクール <本選>

第21回 ショパン作品によるコンサート

第22回 ビエール・バルビゼ ピアノ公開レッスン



022

018

021



5.18
北海道新聞社ホール

6.7
共済ホール

6.8
共済ホール

1981

7.10
共済ホール

9.22
共済ホール

1982

札幌

4.19
札幌市教育文化会館小ホール

第23回 タチアナ・ニコライエフ ピアノリサイタル

タチアナ・ニコライエフ ピアノリサイタルは、翌日の公開レッスンとともに、支部創立 10 周年を記念して開催されました。バッハ演奏の第一人者として周知されたニコライエフですが、3 度目の来日でのリサイタルも、やはりオールバッハのプログラムでした。比較的ポピュラーな『パルティータ第 2 番』やブゾーニ編の『シャコンヌ』とともに、『音楽の捧げもの』より 3 声のリチェルカーレ、『フーガの技法』より第 1 曲 4 声のコントラプンクトゥスなど、例会当時には生のピアノ演奏では触れることの少なかったであろう作品が見られます。そして作曲家でもあったニコライエフ自身による編曲で、『トッカータとフーガ ニ短調』もプログラムに並んでいます。ブゾーニやタウジヒによる編曲が知られていますが、バッハ作品を現代ピアノで弾くことに拘り、バッハの世界を豊かに描きつづけたニコライエフの考えが自身の編曲に窺えたと思われま

す。『妻であり母親である私が、仕事に対する特別な情熱がなければ、ここまではこられなかった。』という自身の言葉がプログラムに記されています。世界最高峰のピアニストの演奏とその“特別な情熱”に触れ、バッハの音楽の本質を知る貴重な機会であったと思います。
(記: 大川直美)

4.20
札幌市教育文化会館小ホール

第24回 タチアナ・ニコライエフ ピアノ公開レッスン

5.3
北海道新聞社ホール

第25回 第3回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<予選>

5.9
北海道新聞社ホール

第25回 第3回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<本選>

帯広

11.28
帯広市民会館大ホール

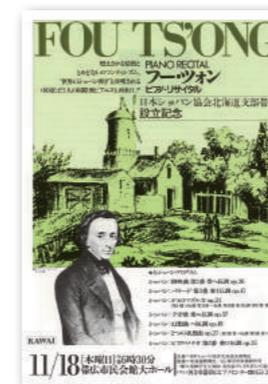
第1回 フー・ツォン ピアノリサイタル (設立記念)



第23回 タチアナ・ニコライエフ ピアノリサイタル

023
|
024

第24回 タチアナ・ニコライエフ ピアノ公開レッスン



(帯) 第1回フー・ツォン ピアノリサイタル

01

1983

札幌

4.26
札幌市教育文化会館ホール

第26回 植田克己 ピアノリサイタル

9.20
京王プラザホテル

第28回 ショパン全曲演奏シリーズ No.1

太田 恵

ショパン全曲演奏シリーズ No. 1 に出演させて頂きましたのは、1983年9月なのでとても昔のことです。第1回目ということで当日は1817年から1829年に作曲されたショパンの初期の作品のポロネーズ、エコセーズ、ノクターン、ワルツなどの演奏が予定されており、私は作品1のロンドと作品5のロンド・ア・ラ・マズールの2曲を演奏致しました。北海道支部札幌の会員でショパン全曲を演奏するという大きな企画を立案し実行するという事は、大変なエネルギーであったと思います。格式あるショパン協会の演奏会への出演の為に緊張感の中で勉強させて頂いた記憶が鮮明に残っております。又、2021年のショパンコンクールで反田恭平さんがロンド・ア・ラ・マズールを演奏していたのを聴きして、私も若い時に弾いたことを思い出しておりました。

028



永井 洋恵	ポロネーズ	ト短調 変ロ長調 変イ長調	遺作 遺作 遺作
梶野三重子	ポロネーズ	嬰ト短調 変ロ短調 変ト長調	遺作 遺作 遺作
松原 喜子	ノクターン 3つのエコセーズ	ホ短調 ニ長調 ト長調 変ニ長調	作品 72-1 作品 72-3 作品 72-4 作品 72-5
輝送行進曲 ワルツ		ハ短調 変イ長調 ロ短調 変ニ長調	作品 72-2 遺作 作品 69-2 作品 70-3
太田 恵	ロンド ロンド・ア・ラ・マズール	ハ短調 ヘ長調	作品 1 作品 5

第27回 ショイモシュ・ペーター ピアノ公開レッスン



027

帯広

第2回 佐藤允彦 コンサートレクチャー ショパンのおと

02



第3回 ショイモシュ・ペーター ピアノ公開レッスン

函館

第1回 創立記念例会
ショイモシュ・ペーター ピアノ公開レッスン

01



126
共済ホール

7.2
勤労者福祉センター

129
勤労者福祉センター

12.7
函館市民会館小ホール

1984

札幌

1.19
札幌市教育文化会館小ホール

第30回 ショパン全曲演奏シリーズNo.2



030

高橋裕希子		
エチュード		作品 10
新しい3つのエチュード		遺作
エチュード		作品 25

3.23
札幌市教育文化会館小ホール

第31回 ショパン全曲演奏シリーズNo.3



031

大門 敬明		
ポロネーズ	二短調	作品 71-1
	変ロ長調	作品 71-2
	ヘ短調	作品 71-3
若狭 律		
変奏曲パガニーニの思い出	イ長調	遺作
ドイツ民謡による変奏曲	ホ長調	遺作
渡辺 卓		
コントルダンス	変ト長調	遺作
マズルカ	変ロ長調	遺作
マズルカ	ト長調	遺作
マズルカ	イ短調	作品 68-2
マズルカ	ヘ長調	作品 68-3
マズルカ	ハ長調	作品 68-1
魚津香代子		
ピアノ・ソナタ 第1番	ハ短調	作品 4

4.29
北海道新聞社ホール

第32回 第4回北海道ショパン学生ピアノコンクール ＜予選＞

5.5
北海道新聞社ホール

第32回 第4回北海道ショパン学生ピアノコンクール ＜本選＞

10.1
共済ホール

第29回 三上桂子 ピアノリサイタル

11.22
すみれホテル

第34回 ビオートル・パレチニ 演奏とお話を聴く夕べ

帯広

第4回 佐藤允彦 レクチャー ショパンを中心に見る音楽史の流れ

第5回 北海道ショパン学生ピアノコンクール 受賞者演奏会

第6回 三上桂子 ピアノリサイタル



05

函館

第2回 佐藤允彦 コンサートレクチャー

第3回 第4回北海道ショパン学生ピアノコンクール 受賞者演奏会

第4回 三上桂子 ピアノリサイタル

札幌

第35回 ショパン全曲演奏シリーズNo.4



035

民門ちず子		
ワルツ	ホ長調	遺作
	変ホ長調	遺作
	ホ短調	遺作
斉藤緑・安田あや子		
連弾 アイルランドの民謡による変奏曲	二長調	
武田真紀子・桜井ちとし		
二台のピアノ ロンド	ハ長調	作品 73
細川順三・熊谷玲子		
フルートとピアノのための変奏曲	ホ長調	遺作
ノクターン	嬰ハ短調	遺作
熊谷玲子・川崎昌子		
序奏とポロネーズ	ハ長調	作品 3
マイヤーベアの「鬼のロベール」による大二重奏曲	ホ長調	遺作

3.14
帯広東急イン

7.25
帯広市民会館大ホール

9.25
帯広市民会館大ホール

3.12
函館市民会館小ホール

8.6
函館市民会館小ホール

10.3
函館市民会館小ホール

1985

4.10
札幌市教育文化会館小ホール

札幌市教育文化会館小ホール 5.10

第36回 ショパン全曲演奏シリーズ No.5



松崎 彰子 ノクターン	ハ短調 変ロ短調 変ホ長調 ロ長調	遺作 作品 9-1 作品 9-2 作品 9-3
忠津 真理 ノクターン	ヘ長調 嬰ハ長調 ト短調	作品 15-1 作品 15-2 作品 15-3
高岡 立子 マズルカ	ニ長調 嬰ヘ短調 嬰ハ長調 ホ長調 変ホ長調 変ロ長調 イ短調 ヘ短調 変イ長調 ハ長調	遺作 作品 6-1 作品 6-2 作品 6-3 作品 6-4 作品 7-1 作品 7-2 作品 7-3 作品 7-4 作品 7-5
白石 朋子(ピアノ) 高井みなと(ヴァイオリン) 細川 幸子(チェロ) ピアノ トリオ		ト短調 作品 8

036

第37回 田口千晴 ピアノリサイタル

第38回 ショパン全曲演奏シリーズ No.6



上井 泰志 ラ・チ・ダレム・ラ・マノの主題による変奏曲	変ロ長調	作品 2
八木田倫代 ロンド・ア・ラ・クラコーヴィアック	ヘ長調	作品 14
豊岡 晶子 ポーランド民謡の主題による大幻想曲	イ長調	作品 13
今林 直美 アンダンテ・スピリアートと華麗なる大ポロネーズ	変ホ長調	作品 22
2nd piano 遠藤 道子 熊谷 玲子		

038

帯広

第7回 遠藤郁子 ピアノリサイタル

第8回 パルバラ・ヘッセ・ブコウスカ ピアノリサイタル

函館

第5回 田口千晴 ピアノリサイタル

第6回 寺西昭子 ピアノリサイタル

第7回 小林仁 ピアノ講座

帯広市民会館大ホール 5.10

帯広市民会館大ホール 9.7

函館市民会館大ホール 6.24

カワイサロン 7.21

カワイサロン 12.15

札幌

第39回 ショパン全曲演奏シリーズ No.7



鳥谷部美帆 華麗なる変奏曲	変ロ長調	作品 12
小西 山晃 ボレロ	ハ長調	作品 19
石田 真理 ワルツ	変ホ長調 イ短調 変ト長調 ロ短調	作品 18 作品 34-2 作品 70-1 作品 20
スケルツォ		
應村由紀子 マズルカ	ニ長調	遺作 作品 17-1 作品 17-2 作品 17-3 作品 17-4
松原真知子 序奏とロンド アレグロ・ド・コンセール	変ホ長調 イ長調	作品 16 作品 46

039

第40回 第5回北海道ショパン学生ピアノコンクール <予選>

第40回 第5回北海道ショパン学生ピアノコンクール <本選>

第41回 ショパン全曲演奏シリーズ No.8



中村 玲子 カンタービレ マズルカ	変ロ長調 変イ長調 ト短調 ハ長調 変イ長調 変ロ短調 ト長調 ハ長調	遺作 作品 24-1 作品 24-2 作品 24-3 作品 24-4 作品 67-1 作品 67-3
横路 朋子 ワルツ	変イ長調 変イ長調 嬰ハ短調 変ホ短調 嬰ハ短調	作品 34-1 作品 69-1 作品 26-1 作品 26-2 作品 66
ボロネーズ 幻想即興曲		
薄井 豊美 ノクターン	嬰ハ短調 変ニ長調 ト短調	作品 27-1 作品 27-2 作品 23
バラード		
北川 雅子 ワルゴ 「ヘクサメロン」のための変奏曲 即興曲 スケルツォ	変ホ長調 ホ長調 変イ長調 変ロ短調	遺作 作品 29 作品 31

041

第42回 小林倫子 Piano & Talk

第43回 ハリーナ・ツェルニー・ステファンスカ ピアノ講座
ポーランドの舞曲

帯広

第9回 小林倫子 ピアノ&トーク
すてきなお話をピアノにのせて

第10回 ハリーナ・ツェルニー・ステファンスカ ピアノリサイタル

1986

札幌市教育文化会館小ホール 1.21

北海道新聞社ホール 5.3-4

北海道新聞社ホール 5.18

札幌市教育文化会館小ホール 9.29

札幌サンプラザホール 10.16

札幌サンプラザホール 12.5

勤労者福祉センター 10.17

帯広市民会館大ホール 12.6

函館

第8回 小林倫子 Piano & Talk

第9回 ハリーナ・ツェルニー・ステファンスカ ピアノ講座
ポーランドの舞曲

札幌

第44回 ショパン全曲演奏シリーズNo.9



市田 みち マズルカ	ハ短調	作品 30-1	ハ長調	作品 33-3
	ロ短調	作品 30-2	ロ短調	作品 33-4
	変ニ長調	作品 30-3	嬰ハ短調	作品 41-1
	嬰ハ短調	作品 30-4	ホ短調	作品 41-2
	嬰ト短調	作品 33-1	ロ長調	作品 41-3
ニ長調	作品 33-2	変イ長調	作品 41-4	
水田 香 プレリュード	変イ長調	選作	嬰ト短調	作品28-12
	嬰ハ短調	作品45	嬰ハ長調	作品28-13
	ハ長調	作品28-1	変ホ短調	作品28-14
	イ短調	作品28-2	変ニ長調	作品28-15
	ト長調	作品28-3	変ロ短調	作品28-16
	ホ短調	作品28-4	変イ長調	作品28-17
	ニ長調	作品28-5	ヘ短調	作品28-18
	ロ短調	作品28-6	変ホ長調	作品28-19
	イ長調	作品28-7	ハ短調	作品28-20
	嬰ヘ短調	作品28-8	変ロ長調	作品28-21
嬰ハ長調	作品28-9	ト短調	作品28-22	
ロ長調	作品28-10	ヘ長調	作品28-23	
	ロ長調	作品28-11	ニ短調	作品28-24

044

第45回 ショパン全曲演奏シリーズNo.10



松原 喜子 ノクターン	ロ長調	作品 32-1		
	変イ長調	作品 32-2		
	ト短調	作品 37-1		
	ト長調	作品 37-2		
菅原みさ子 即興曲	嬰ヘ長調	作品 36		
	変ト長調	作品 51		
	イ長調	作品 40-1		
ボロネーズ	ハ短調	作品 40-2		
中島かおり ワルツ	ヘ長調	作品 34-3		
	変イ長調	作品 42		
	変ホ長調	選作		
	イ短調	選作		
	ヘ短調	作品 70-2		
黒河 好子 ピアノ・ソナタ 第2番	変ロ短調	作品 35		

045

第46回 ショパン全曲演奏シリーズNo.11



瀬野恵美子 バラード	ヘ長調	作品 38		
	嬰ハ短調	作品 39		
宮木恵子 幻想曲	ヘ短調	作品 49		
	変イ長調	作品 53		
小岩重由美 マズルカ	イ短調	選作		
	イ短調	選作		
	ト長調	作品 50-1		
	変イ長調	作品 50-2		
	嬰ハ短調	作品 50-3		
高岡立子 ノクターン	ハ短調	作品 48-1		
	嬰ヘ短調	作品 48-2		
	ヘ短調	作品 55-1		
	変ホ長調	作品 55-2		
陣内尚子 バラード	変イ長調	作品 47		
	ヘ短調	作品 52		

046

第47回 ラントシュ・イシュトヴァーン ピアノリサイタル

第48回 ショパン全曲演奏シリーズNo.12



大門敬明 マズルカ	ロ長調	作品 56-1
	ハ長調	作品 56-2
	ハ短調	作品 56-3
大竹直 マズルカ	イ短調	作品 59-1
	変イ長調	作品 59-2
	嬰ヘ短調	作品 59-3
太田恵 フーガ	イ短調	選作
	タランタラ	選作
	モデラート	作品 43
	ポロネーズ	選作
滝沢かおり ワルツ	変ニ長調	作品 64-1
	嬰ハ短調	作品 64-2
	変イ長調	作品 64-3
	ホ長調	作品 64
スケルツォ		
遠藤江里子 ピアノ・ソナタ 第3番	ロ短調	作品 58

048

帯広

第11回 ラントシュ・イシュトヴァーン ピアノリサイタル

函館

第10回 遠藤道子 ピアノ講座

第11回 ラントシュ・イシュトヴァーン ピアノリサイタル



10

札幌

第49回 ショパン全曲演奏シリーズNo.13



渡辺卓 ノクターン	ロ長調	作品 62-1
	ホ長調	作品 62-2
山岡望 子守歌	変ニ長調	作品 57
	嬰ハカローレ	作品 60
	幻想ポロネーズ	作品 61
白石朋子 マズルカ	ロ長調	作品 63-1
	ヘ短調	作品 63-2
	嬰ハ短調	作品 63-3
	ト短調	作品 67-2
	イ短調	作品 67-4
	ヘ短調	作品 68-4
村井将(チェロ) 清野尚也 チェロソナタ	ト短調	作品 65

049

10.15
カワイサロン

12.9
ホテル法華クラブ

1987

5.15
札幌市教育文化会館小ホール

6.29
札幌市教育文化会館小ホール

8.11
札幌市教育文化会館小ホール

10.26
札幌サンプラザホール

12.1
札幌市教育文化会館小ホール

10.28
帯広市民会館大ホール

4.10
カワイサロン

12.24
函館市民会館小ホール

1988

3.18
札幌市教育文化会館小ホール

054

第 5 4 回 ショパン音楽祭
日本ショパン協会北海道支部 15 周年記念

1988 年 9 月 13 日札幌市民会館（現在カナモトホール）に於いて、日本ショパン協会北海道支部 15 周年記念音楽祭が開催されました。同支部は 1973 年に日本ショパン協会の最初の支部として創立以来、北海道ショパン学生ピアノコンクールの創設、札幌、帯広、函館に地区委員会を設置、ショパン全曲連続演奏会の開催、その他企画、運営で活発な活動を続けていました。北海道支部の理事、地区委員総出演による 15 周年の記念すべきショパン音楽祭ということで話題を呼び、チケットは開催数日前には完売となり当日は立ち見が出る盛況となりました。ワルツの連弾によるオープニングに始まり、ソロ、2 台ピアノと進められ、日本フォークダンス連盟北海道支部による民族衣装も華やかなポーランドの民族舞踊が披露され、ステージに華を添えて頂きました。

この日の聴衆の話題となったのは最後のステージでのグランドピアノ 8 台を中央に 2 台ピアノ、両サイドに斜めに 3 台ずつ並べ 16 人の連弾による < 葬送行進曲 > < 軍隊ポロネーズ > の大合奏に聴衆はいつまでも拍手を送っていました。

(記: 横路朋子)



1988. 9. 13 / ショパン音楽祭 / 札幌市民会館



050

- 第 5 0 回 ラントシュ・イシュトヴァーン ピアノ公開レッスン
- 第 5 1 回 第 6 回北海道ショパン学生ピアノコンクール < 予選 >
- 第 5 1 回 第 6 回北海道ショパン学生ピアノコンクール < 本選 >
- 第 5 3 回 ショパン全曲演奏シリーズ No.14



053

松田由理子 (メゾ・ソプラノ)	
いとしき人	作品 74-12
使い	作品 74-7
リトアニアの歌	作品 74-16
春	作品 74-2
乙女の願い	作品 74-1
恋い	作品 74-13
美しき若者	作品 74-8
舞い落ちる木の葉	作品 74-17
則竹正人 (バリトン)	
ラントシュ・イシュトヴァン (ピアノ)	
指輪	作品 74-14
二つの死	作品 74-11
彼女の好きなこと	作品 74-5
メロディ	作品 74-9
つわもの	作品 74-10
消えろ	作品 74-6
悲しみの川	作品 74-3
許婚者	作品 74-15
酒の歌	作品 74-4
ドゥムカ	イ短調 選作
魔力	二短調 選作

- 第 5 4 回 ショパン音楽祭
日本ショパン協会北海道支部 15 周年記念



札幌市教育文化会館小ホール 4.15
北海道新聞社ホール 4.25、5.1
北海道新聞社ホール 5.3
札幌市教育文化会館小ホール 5.20

札幌市民会館 9.13

第 5 5 回 ショパン全曲演奏シリーズ No.15

「ショパン全曲演奏シリーズ最終回 No.15 ～ピアノ協奏曲～」

水田 香



残されたプログラムから、この演奏会が開かれた 1988 年はショパン没後 140 年に当たり、日本ショパン協会北海道支部が活動を開始してから 15 周年、加えて 1983 年から始められた「ショパン全曲演奏会」が完結する重要な年でもあったのか！と今更ながら感慨を覚えます。最終回ではピアノとオーケストラの共演作品 4 曲（協奏曲第 1 番、

同第 2 番、ポーランド民謡のテーマによる大幻想曲、アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ）が札幌交響楽団（指揮／小松一彦氏）をバックに演奏され、ソリストはショパン協会北海道支部の 4 名（熊谷玲子先生、高岡立子先生、同年代の白石朋子さんと水田香）が務めました。「協奏曲 第 1 番」を演奏した私は本番での演奏が果々しくなかったせいか、これまで自分の記憶の外に「追放」しておりましたが、思い出されることといえば、リハーサル後に白石さんと人目を忍んでロビーの自販機で飲み物を調達したこと、今では懐かしく偲ばれるかつての「札幌市民会館」で、舞台袖にたどり着くには暗くて急な階段を心細い思いで上ったこと、本番後には舞台裏の暗闇で次の演奏を聴いていたことです。このように大掛かりな演奏会はなかなか企画できない時代となりましたので、当時の遠藤道子先生のご熱意と、運営に当たられた先生方の実行力に敬服し、懐かしく思える今日この頃です。

帯広

第 1 2 回 ラントシュ・イシュトヴァーン ピアノ公開講座
リスト・ピアノの名手そして哲学者

第 1 3 回 遠藤郁子 コンサートレクチャー
ショパン・エチュードの詩情

函館

第 1 2 回 ラントシュ・イシュトヴァーン ピアノ講座

第 1 3 回 創立 5 周年 遠藤郁子 ピアノリサイタル
エチュードの心

札幌

第 5 6 回 パデレフスキー・シマノフスキーの作品によるコンサート

第 5 7 回 カジミェシュ・ギェルジョード 公開レッスン
(Kazimierz Gierzod)

帯広

第 1 4 回 ラントシュ・イシュトヴァーン ピアノ公開講座

第 1 5 回 カジミェシュ・ギェルジョード ピアノ公開レッスン
(Kazimierz Gierzod)

函館

第 1 4 回 ラントシュ・イシュトヴァーン 公開講座

第 1 5 回 小林仁 ピアノ公開講座



15

4.12
勤労者福祉センター

6.24
十勝毎日新聞社勝毎ホール

4.18
函館市民会館小ホール

12.17
函館市民会館小ホール

1989

7.21
札幌サンプラザホール

9.17
札幌市教育文化会館小ホール

5.15
帯広市民文化ホール

9.18
帯広市民文化ホール

5.11
函館市民会館小ホール

12.13
函館市民会館小ホール

1990

札幌

5.3-4
北海道新聞社ホール

第58回 第7回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<予選>

5.13
北海道新聞社ホール

第58回 第7回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<本選>

11.13
札幌市教育文化会館小ホール

第59回 佐藤允彦 公開講座 ショパンとその時代

12.22
すみれホテル

第60回 マズルカ全曲演奏会

帯広

6.18
帯広市民文化ホール

第17回 ヘゲデウシュ・エンドレ ピアノリサイタル

11.14
六花亭ホール

第18回 佐藤允彦 コンサートレクチャー
ショパンとその時代

函館

5.25
函館市民会館小ホール

第16回 ピュイグ・ロジェ公開レッスン

10.27
クレモナホール

第17回 ヘゲデウシュ・エンドレ ピアノリサイタル

1991

札幌

7.15
札幌市教育文化会館小ホール

第61回 ヘゲデウシュ・エンドレ ピアノリサイタル

9.10
札幌市教育文化会館小ホール

第62回 遠藤郁子 公開講座

帯広

8.26
帯広市民文化ホール

第19回 ラントシュ・イシュトヴァーン ピアノリサイタル

1992

札幌

4.10
かでの2・7ホール

第63回 ショパンの夕べ

5.3-4
北海道新聞社ホール

第64回 第8回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<予選>

第64回 第8回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<本選>



064

第65回 北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞者コンサート

第66回 田村進 公開講座 ポロネーズの系譜

第67回 ビデオ鑑賞会 ～ショパンを訪ねて～



066

帯広

第22回 田村進 公開講座 ポロネーズの系譜

第21回 イェージー・スリコスキ ピアノリサイタル

函館

第18回 デュオ・コンサート

札幌

第68回 佐藤泰一 講座 演奏録音に聞くショパン

第69回 青沢唯夫 講座 ショパン自身のピアノ奏法

5.10
北海道新聞社ホール

7.13
かでの2・7ホール

9.21
札幌市教育文化会館小ホール

10.2
札幌市教育文化会館研修室

6.23
六花亭ホール

7.11
帯広市民文化ホール

3.2
ホテル・リードコア

1993

5.7
かでの2・7研修室

7.16
ザ・ルーテルホール

第70回 ショパン音楽祭

日本ショパン協会北海道支部設立20周年記念

070



江田 ゆかり

入会して間もない頃、北海道支部創立20周年記念コンサート「ショパン音楽祭」第1部のステージに出演の機会をいただきました。5台のピアノを並べて右から順に12曲を5名でメドレー形式で演奏するステージでした。

本番の何ヶ月か前に札幌大谷短期大学(現札幌大谷大学)で初めて5名で合わせる練習がおこなわれた時のこと、遠藤道子先生はじめ実行委員の先生方が全員立ち会われることを知らずに5人での練習のつもりだった私は、「今日はこれからこのステージのタイムを測りますので止まらないで弾いてください」と突然委員の先生に告げられた瞬間に冷や汗が出た記憶が蘇ります。

当日の楽屋は音楽祭に相応しくとても賑やかでした。皆さまのきらびやかで華やかな雰囲気、尊敬している憧れの先生方と同じコンサートに出演できる事の喜びと共に、客席に対して真正面を向いて演奏するという初めての経験にとっても興奮していた事を思い出します。このほかの例会にも何度か出演致しましたが、10台のピアノを20名の連弾で演奏するステージもあり、その練習は河合楽器店舗のピアノを使用させていただきました。大勢で合わせるのがなかなか大変で、掛け声をかけながらの練習でした。その後例会の実行委員になった時には、遠藤道子先生のお宅でお茶やお菓子をいただきながら和やかに話し合いが行われた事も懐かしい思い出です。



高丸 直美

北海道支部設立20周年フェスティバルは1993年9月25日に開催されました。6名のソロによるショパンメドレー、2台のピアノの演奏が7組、10台のピアノによる「雨だれ」、そして「10台のピアノ40手による英雄ポロネーズ」という総勢48名の演奏者が出演する豪華なプログラムです。私も「40手」のうちの2手を担当して出演しました。コロナ禍の現在では考えられない多くの出演者による演奏会でした。当時海外でも行われたマルチピアノによる演奏を含め、大いに盛り上がり、お客様からも盛大な拍手をいただきました。

「40手」のリハーサルは当時のカワイの店舗で行われ、5台のピアノを使って代わるがわるに練習しました。楽譜が手元に残っていないので第1と第2ピアノがどのように役割分担して連弾をしたのか定かではありませんが、早いパッセージを全員で合わせるのはなかなか大変でした。それでも木村純先生の素晴らしい編曲で迫力のある英雄ポロネーズになりました。

札幌教育文化会館大ホールのステージには会館のピアノ4台とカワイから持ち込まれた6台が並べられました。本番前には5人の調律師さんが調律してくださいました。限られた時間内での調律はととても大変で、反響板の外とステージ上でのピッチ合わせには苦労されたとお聞きしました。たくさんのスタッフの方々のお陰で私たちは楽しく演奏することが出来ました。扇形に並んだ10台のピアノの前に20名の演奏者が色とりどりのドレスで演奏している写真が残っています。華やかなフェスティバルの雰囲気が今でも思い出されます。こうした演奏会に参加出来たことは、本当に光栄に思います。

10.29
かでの 2・7 ホール

第 7 1 回 北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞者コンサート

11.17
共済ホール

第 7 2 回 フー・ツォン ピアノリサイタル

帯広

4.18
六花亭ホール

第 2 3 回 田村進 ピアノ公開講座
ショパンのワルツとポーランド民謡

11.16
帯広市民文化ホール

第 2 4 回 フー・ツォン ピアノリサイタル

函館

9.22
函館市民会館小ホール

第 1 9 回 田村進 公開講座

10.5
函館有斗フェスティバルホール

第 2 0 回 函館地区設立 1 0 周年記念
遠藤郁子 演奏と公開レッスン

11.16
函館有斗フェスティバルホール

第 2 1 回 フー・ツォン ピアノリサイタル

1994

札幌

3.24
かでの 2・7 ホール

第 7 3 回 北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞者コンサート

4.2
かでの 2・7 研修室

第 7 4 回 愛好会のためのビデオ鑑賞

4.29、5.1
北海道新聞社ホール

第 7 5 回 第 9 回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<予選>

5.15
北海道新聞社ホール

第 7 5 回 第 9 回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<本選>

7.6
かでの 2・7 ホール

第 7 6 回 小林仁 ピアノリサイタル

7.29
かでの 2・7 ホール

第 7 7 回 ショパン名曲コンサート

10.25
かでの 2・7 ホール

第 7 8 回 コンクール審査の心理学

帯広

第 2 5 回 遠藤道子 ピアノ公開レッスン
第 9 回北海道ショパン学生ピアノコンクール課題曲による

第 2 6 回 第 9 回北海道ショパン学生ピアノコンクール
帯広地区予選

第 2 7 回 小林仁 ピアノリサイタル

第 2 8 回 コンクール審査の心理学

函館

第 2 2 回 岡田照幸 ピアノ公開レッスン
第 9 回北海道ショパン学生ピアノコンクール課題曲による

第 2 3 回 第 9 回北海道ショパン学生ピアノコンクール
函館地区予選

第 2 4 回 コンクール審査の心理学

第 2 5 回 黒川武 ピアノ公開レッスン
ショパンのピアノ曲におけるペダル使用法

札幌

第 7 9 回 ショパン愛好会のための例会

第 8 0 回 ポロネーズの世界



1. 水谷 道子 ト短調 遺作 (1817 年) 変ロ長調 遺作 (1817 年) 変イ長調 遺作 (1821 年)	5. 滝沢かおり 嬰ハ短調 Op.26-1 (1834 年) 変ホ短調 Op.26-2 (1834 年)
2. 奥田かおり 嬰ト短調 遺作 (1822 年) ニ短調 遺作 Op.71-1 (1825 年)	6. 青村理恵子 イ長調 Op.40-1 (1838 年) ハ短調 Op.40-2 (1838 年)
3. 高丸 直美 変ロ短調 遺作 (1826 年) 変ロ長調 遺作 Op.71-2 (1828 年)	7. 塚原恵美子 変イ長調 Op.53 (1842 年)
4. 江田ゆかり ヘ短調 Op.71-3 (1828 年) 変ト長調 遺作 (1829 年)	8. 梅本 実 嬰ヘ短調 Op.44 (1840 年) 変イ長調 Op.61 (1845 年)

第 8 1 回 北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞者コンサート

第 8 2 回 エーリッヒ・アンドレアス ピアノリサイタル

第 8 3 回 第 1 3 回ショパン国際コンクール ビデオ鑑賞

2.26
帯広市民文化ホール

5.4
帯広市民文化ホール

7.7
帯広市民文化ホール

10.29
六花亭ホール

1.22
ホテル・リードコア

5.3
函館市民会館小ホール

10.21
函館市民会館

10.21
函館市民会館

1995

4.14
すみれホテル

6.27
かでの 2・7 ホール

080

帯広

1.25
六花亭ホール

第29回 黒川武 ピアノ公開レッスン
ショパンのピアノ曲におけるペダル使用法

10.12
帯広市民文化ホール

第30回 エーリッヒ・アンドレアス ピアノリサイタル

函館

5.25
函館市民会館小ホール

第26回 長尾洋史 ピアノリサイタル

10.9
函館市民会館小ホール

第27回 エーリッヒ・アンドレアス ピアノリサイタル

1996

札幌

4.13
ザ・ルーテルホール

第84回 小林仁 ピアノ公開レッスン

5.3-4
かでの2・7ホール

第85回 第10回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<予選>

5.12
かでの2・7ホール

第85回 第10回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<本選>

7.30
かでの2・7ホール

第86回 北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞者コンサート

10.25
ザ・ルーテルホール

第87回 安井耕一 ピアノ公開レッスン

帯広

2.26
六花亭ホール

第31回 熊谷玲子 公開レッスン

4.14
とかちプラザ レインボーホール

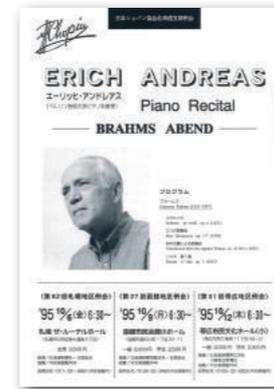
第32回 小林仁 ピアノ公開レッスン

9.7
とかちプラザ レインボーホール

第33回 第10回北海道ショパン学生ピアノコンクール
帯広地区予選

9.7
とかちプラザ レインボーホール

第34回 北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞者コンサート



(帯) 第30回 エーリッヒ・アンドレアス
ピアノリサイタル

30

084



第84回 小林仁 ピアノ公開レッスン

第85回 第10回 ショパン学生ピアノコンクール



特別審査員 カジミエシュ・ギエルジョード

085

函館

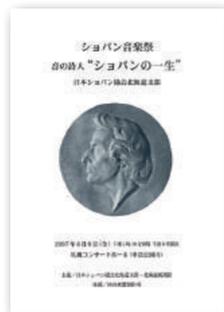
2.22
ホテル法華クラブ第28回 熊谷玲子 公開レッスン
第10回北海道ショパン学生ピアノコンクール課題曲による2.23
ホテル・リードコア

第29回 第10回北海道ショパン学生ピアノコンクール課題曲の講座

4.29
函館市民会館小ホール第30回 第10回北海道ショパン学生ピアノコンクール
函館地区予選9.7
函館市民会館第31回 北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞者コンサート

1997

札幌

8.8
札幌コンサートホール kitara 大ホール第88回 特別例会 ～ショパン音楽祭～
「ショパンの一生」

088

12.5
かでの 2・7 ホール第89回 講演 ショパンの嬰ハ短調
講師：三浦洋

帯広

3.13
とかちプラザ レインボーホール第35回 設立15周年記念
ラントシュ・イシュトヴァーン ピアノリサイタル10.26
とかちプラザ レインボーホール

第36回 第1回ショパン協会会員によるコンサート

12.4
六花亭ホール第37回 講演 ショパンの嬰ハ短調
講師：三浦洋

第89回 講演 ショパンの嬰ハ短調

三浦 洋

私が「ショパンの嬰ハ短調」と題した講演会を行ったのは、遠藤道子先生から「何かショパンについて講演してみない？」と言われたのがきっかけでした。それは、北海道ポーランド文化協会の催しの席だったと思います。当時、ショパンの生涯や作品への関心を強めていた私は、嬰ハ短調の名曲が多いことに気づき、自分の考えをまとめてみようと思い立ちました。

真先に思い浮かべたのは遺作のノクターンと作品 25—7 のエチュードで、懐かしい思い出や郷愁を感じさせる点が共通します。やはりノスタルジックな「別れの曲」はホ長調ですけれども、中間部で転調して平行調の嬰ハ短調になります。スケルツォ第3番やマズルカの傑作など、挙げればきりがなくらい四つの#が現れます。その理由を楽譜は教えてくれませんが、ほどよく使われる黒鍵が繊細に響き、ピアノの音が人の心の琴線に触れるからではないでしょうか。

そして、嬰ハ短調の元祖としてベートーヴェンの「月光」ソナタを思い出さないわけにはいきません。調性も同じなら、似た旋律も含む「幻想即興曲」がショパンによって生み出されています。ベートーヴェン像を建立する資金を得ようと、リストが作曲家たちに協力を頼んだとき、ショパンが提供したのは単独の前奏曲でした。その嬰ハ短調は、「月光」ソナタへのオマージュのように思えてなりません。遠藤先生から背中を押され、あの講演会をお引き受けしてよかったと、今では強く思います。

089 37

函館

函館市民会館大ホール 7.2

第32回 アナリーゼ (ソナタ第3番 Op.58) と
山口博史 ピアノリサイタル

函館市民会館大ホール 7.2

第33回 畑中一映 ピアノリサイタル

ホテル・リードコア 12.18

第34回 講演 ショパン「ソナタ第2番」の謎

1998

札幌

かでの2・7ホール 4.25-26

第90回 第11回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<予選>

かでの2・7ホール 5.10

第90回 第11回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<本選>

札幌コンサートホール kitara 大ホール 11.6

第92回 創立25周年特別例会 協奏曲の夕べ
ハリーナ・ツェルニー・ステファンスカ
エリザベータ・ステファンスカ 演奏会



092

帯広

第38回 第11回北海道ショパン学生ピアノコンクール
帯広地区予選

第39回 第2回ショパン協会会員によるコンサート

第40回 ジョイントリサイタル
ハリーナ・ツェルニー・ステファンスカ / エリザベータ・ステファンスカ

函館

第35回 第11回北海道ショパン学生ピアノコンクール
課題曲による勉強会

第36回 遠藤道子 ピアノ公開講座
コンクール課題曲による

第37回 第11回北海道ショパン学生ピアノコンクール
課題曲研修会

第38回 第11回北海道ショパン学生ピアノコンクール
函館地区予選

第39回 設立15周年記念演奏会ジョイント・リサイタル
ハリーナ・ツェルニー・ステファンスカ / エリザベータ・ステファンスカ



39

40

<p>ショパン (1810-1849)</p> <ul style="list-style-type: none"> ポロネーズ Op.71-2 B-dur ポロネーズ Op.71-1 d-moll ポロネーズ Op.44 fis-moll ポロネーズ Op.40-2 c-moll 4つのマズルカ (当日、曲目発表) <p>パデレフスキー (1860-1941)</p> <ul style="list-style-type: none"> クラコヴィアク Op.5-3 B-dur 幻想的なクラコヴィアク Op.14-7 <p>ショパン</p> <ul style="list-style-type: none"> 2つのワルツ Op.34-1 As-dur/Op.34-2 a-moll <p>J.ザレンプスキ (1854-1885)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大ポロネーズ Op.6 Fis-dur <p>以上 ピアノ / ハリーナ・C・ステファンスカ</p>	<p>16世紀から19世紀のポーランド舞曲</p> <ul style="list-style-type: none"> 舞曲 もう一人のマーチン ボズナン地方の舞曲 ハイデュツキ舞曲 他8曲 ミハウ・クレオファス・オギンスキ (1765-1833) ポロネーズ a-moll 故国への別れ テンボ・ディ・メヌエット クアドユリール1番 ワルツ1番 ヤコフ・ボラック (1545-1605) ガリアルダ クーラント A-調の舞曲 (17世紀後半) 舞曲 (18世紀前半) 他3曲 マリア・シマノフスカ (1789-1831) コントラダンス クアドユリール アングレース3番 アングレース1番 <p>以上 チェンバロ / エリザベータ・ステファンスカ</p>
---	---

1999

7.1
かでの 2・7 ホール

札幌

第93回 ショパン没後150年記念コンサート
ワルツ & 即興曲全曲演奏会



093

帯広

1999.7.20
帯広市民文化ホール

第41回 ショパン没後150年記念コンサート

函館

9.13
金森ホール

第40回 函館地区再設立・発足会 ショパン光と影

2000

4.29-30
かでの 2・7 ホール

札幌

第94回 第12回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<予選>

5.7
かでの 2・7 ホール

第94回 第12回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<本選>

11.7
札幌市教育文化会館小ホール

第95回 ショパン練習曲作品10
～演奏&プレトーク お話:黒川武

帯広

5.11
六花亭ホール

第42回 エーリッヒ・アンドレアス 公開レッスン

12.10
とかちプラザ レインボーホール

第43回 レクチャー・コンサート
ショパンの生涯と(1) 青春のショパン



第95回 ショパン練習曲作品10
演奏 & プレトーク

095

日向(金野)加代子

20年以上前の公演でしたので懐かしい思いで保存してあったプログラムのファイルを開いた所、探すこともなく1番上にあり、懐かしい道子先生の手で、「遺作 1.f-moll、2.Des-dur、3.As-dur を弾いていただきます。よろしく、どうぞ」と書いてあるお葉書まで入っていました。それまでは聴く側だった会に参加して弾くことへの緊張もありました。公演は黒川武先生のトーク「ショパンの練習曲あれこれ」が前半にあり、その後私を含め7名の先生方がエチュードを弾きました。この会はあえて色々な版を使って弾いてみるという試みもありました。黒川先生より「ペダンティックな音符の比較検討ではなく、透徹した洞察でショパンの考えに近づきたいもの」というお話と「凝縮された知的思考、自由に創造的な感情、闊達な技術を目指すことでショパンの音楽が生きた感動を広く生み出すことになる」と今こうして書いていても身震いのするような真剣な先生の、音楽への眼差しが伝わる公演になったと記憶しております。

2001

札幌市教育文化会館小ホール 5.17

札幌

第96回 ショパンワルツ全曲演奏会 & プレトーク

お話：黒川武

かでの 2・7 ホール 8.9-10

第97回 第12回北海道ショパン学生ピアノコンクール 受賞者コンサート

帯広

とちがちプラザ レインボーホール 12.5

第44回 レクチャー・コンサート

ショパンの生涯と(2) 若き日の歌

函館

河合楽器製作所函館店2階 4.28

第41回 現代ポーランド音楽事情

河合楽器製作所函館店2階 6.8

第42回 ワルツ作品 64 からショパンの原点を探る

2002

かでの 2・7 ホール 4.27-28

札幌

第98回 第13回北海道ショパン学生ピアノコンクール <予選>

かでの 2・7 ホール 2002.5.12

第98回 第13回北海道ショパン学生ピアノコンクール <本選>

2002.9.18

第99回 講演 ショパンの幻のオペラ計画

講師：三浦洋

帯広

帯広市民文化ホール 6.28

第45回 設立20周年記念 遠藤郁子 ピアノリサイタル

六花亭ホール 11.30

第46回 サロンコンサート

函館

河合楽器製作所函館店2階 6.1

第43回 北海道ショパン学生ピアノコンクール報告会

函館市芸術ホール 8.2

第44回 ショパンを弾くために

～ポロネーズとマズルカの光と影

第96回 ショパンワルツ全曲演奏会 & プレトーク



096

秋元 恵理子

このたび「ワルツ全曲演奏会 & プレトーク」についての寄稿をご依頼いただきましたが、何しろ20年以上前のイベントでしたのでプログラムを見ながら記憶を掘り起こして行ったところ、黒川武先生のお姿、お顔等と共に懐かしい場面が次第に甦って参りました。私が演奏した3曲はすべて遺作であり、比較的演奏される機会の多い作品でした。特にホ短調は大変ドラマチックで、短い中に変化に富んだ楽想がギュッと詰まっており、今でも自分の貴重なレパートリーとして弾き続けています。ショパン好きな私としては様々な作品にトライしてみるのですが、中には全く手に負えない作品も少なくありません。しかし、ワルツはどの作品も親しみやすく、いつも弾き始めるとスッとショパンの華麗な世界へ連れて行ってもらえる気がしますので、緊張を伴う本番もワルツを弾くという気楽さに少しリラックスして弾けたことも覚えています。

また、プログラムに書かれた黒川先生の解説がとてもわかりやすく、聴きに來られたお客様が先生のトークもとても良かった、と大層喜んでいらっしやうたことを思い出し、ショパン協会だけでなく北海道の音楽会に大きな貢献をされた方だったと今更ながら存在の大きさを感じました。ショパン協会の一員となったおかげで、このような有意義な経験を他にもたくさんさせていただきました事に、この文を書きながら改めて感謝の気持ちを感じている次第です。

2003

札幌コンサートホール kitara 小ホール

札幌

第100回 カジミェシュ・ギェルジョード ピアノリサイタル
(Kazimierz Gierzod)

三浦 洋

記念すべき第100回例会は、カジミェシュ・ギェルジョード先生のピアノリサイタルでした。私は、先生が札幌にいらっしゃる前から、そのお名前は耳にしていました。北海道には、ワルシャワで先生に師事したピアニストが何人かおり、その方々から先生のお人柄について伺っていたからです。「先生は音楽院の掃除の仕事をしている人たちとも、にこやかに挨拶を交わす」「学生たちから慕われ、ランチをともにする」と、繰り返し聞いていました。演奏もお人柄そのもので、決して高慢ではなく、端正に音を響かせ、歌うように奏でるスタイルでいらっしゃいました。先生がイタリア留学されたことを知っていた私は、オペラを好んだショパンの歌心がよみがえったようだと感じました。

ポロネーズの公開レッスンの際に語られた、「最初の音を美しく響かせてください」という言葉が忘れ難いですが、それ以上に感銘を受けたのは、特別審査委員長を務められた北海道ショパン学生コンクールでの総評です。「ピアニストは俳優でなければなりません。ただセリフを覚えるのではなく、作品世界を体験しなければなりません」。優れた演劇の伝統を持つポーランドの音楽家だからこそ語れる言葉には重みがあります。私は今でも、先生のこの名言こそ、ショパンの曲を演奏する人々への最良の教えだと思っています。

第101回 第13回北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞記念コンサート8.31
札幌コンサートホール kitara 小ホール

第102回 土田英介 公開講座 ショパンの書式

9.23
かでの2・7ホール

室蘭出身の作曲家、土田英介先生による公開講座が、創立30周年を記念して、かでの2.7ホールで行われました。～ショパンの書式～と題して、ノクターン Op.27-2 No.8 とソナタ Op.35 No.2 を取り上げ、土田先生手書きの細やかな解説や書き込みがある楽譜もいただける、受講者には大変贅沢な内容でした。土田先生の音楽愛溢れる熱い語りに惹きつけられ、目から鱗の様々な解釈、作曲家ならではの視点で、ショパンの曲を深く読み解いていく楽しさを教えていただきました。受講した先生方は今でもその講座のことが鮮烈に記憶に残っているとおっしゃっています。

ショパンに限らず、楽譜を深く掘り下げ演奏に繋げていくという大切なことを学んだ貴重な勉強会でした。(記:八田寿美恵)

帯広

第47回 清野尚也 ピアノリサイタル

10.8
とちあプラザ レインボーホール

第48回 ポロネーズの世界

12.12
とちあプラザ レインボーホール

函館

第45回 カジミェシュ・ギェルジョード 公開講座
(Kazimierz Gierzod)5.1
函館市芸術ホール

第46回 清野尚也 ピアノリサイタル

9.29
函館市民会館小ホール

2004

札幌

4.24-25
札幌コンサートホール kitara 小ホール

第103回 第14回北海道ショパン学生ピアノコンクール
＜予選＞

5.9
札幌コンサートホール kitara 小ホール

第103回 第14回北海道ショパン学生ピアノコンクール
＜本選＞

7.31
札幌コンサートホール kitara 小ホール

第104回 第14回北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞記念コンサート

函館

9.18
上磯町総合文化センターかなでーる

第47回 高橋多佳子 ピアノリサイタル
「誇り高きピアノの詩人ショパン～その39年の生涯」

2005

4.24
上磯町総合文化センターかなでーる

第48回 遠藤道子先生 米寿記念「ピアノ教育むかし・いま」

2006

札幌

4.22-23
札幌コンサートホール kitara 小ホール

第105回 第15回北海道ショパン学生ピアノコンクール
＜予選＞

4.30
札幌コンサートホール kitara 小ホール

第105回 第15回北海道ショパン学生ピアノコンクール
＜本選＞



105

第106回 第15回北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞記念コンサート

2006.7.30
札幌コンサートホール kitara 小ホール

帯広

第50回 岡田知子 コンサート&レクチャー

函館

第49回 永野秀樹 ピアノリサイタル

札幌

第107回 ショパンセミナーⅠ
ショパン研究の世界の最前線

第108回 ショパンセミナーⅡ
チャールズ・ローゼンへのアプローチ

帯広

第51回 黒川武 レクチャー

第52回 会員コンサート

第53回 黒川武 レクチャー

函館

第50回 50回記念例会 Part 1 室内楽のたのしみ

第50回 50回記念例会 Part 2 伊藤野笛 ピアノリサイタル

札幌

第109回 小林仁 公開レッスン

第110回 第16回北海道ショパン学生ピアノコンクール
＜予選＞

第110回 第16回北海道ショパン学生ピアノコンクール
＜本選＞

第111回 第16回北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞記念コンサート



109

9.17
六花亭ホール

12.1
函館市芸術ホール

2007

6.30
カワイ札幌ショップ

10.9
カワイ札幌ショップ

7.19
とちちプラザ スタジオ

10.6
とちちプラザ レインボーホール

11.8
とちちプラザ スタジオ

8.18
北斗市総合文化センターかなでーる

9.21
函館市芸術ホール

2008

2.1
カワイ札幌ショップ

4.19-20
札幌コンサートホール kitara 小ホール

5.11
札幌コンサートホール kitara 小ホール

10.19
札幌コンサートホール kitara 小ホール

函館

第51回 岡田照幸 公開講座 チェルニー没後150年企画

第52回 岡田奏 ピアノリサイタル
2008年ラニーピアノコンクール(仏)最年少第1位優勝記念

札幌

第112回 「ショパンイヤー プレイベント」
ピアノ協奏曲の室内楽版

住友 奈苗



「第112回例会 ショパンのピアノ協奏曲室内楽版」に出演させていただいた時の思い出。

この頃は、体調が悪く、手術も決まっていたのですが、大好きなショパンの、大好きな協奏曲を弾ける機会はもう最初で最後のチャンス。迷いに迷い、締め切り当日の消印が付くギリギリの夜中、中央郵便局に、申し込みハガキを投函しました。指揮者がいないこと、トリオとは違い横並びの配置だったことなど、慣れないことだらけだったのですが、室内楽の方々に助けられて、本番は、この上ない幸せな気持ちで舞台を終えた記憶が鮮明に残っています。

ただ、その幸せな記憶は、同時に、今となっては寂しい記憶となってしまいました。演奏会にあたり、最初の合わせから本番まで付き添ってくださった今は亡きお二人の先生。「君～本番強いね～」と舞台袖で笑顔で迎えて下さった黒川武先生。そして何より、「ななちゃん、良かったわよ」と、中学の頃からの変わらぬ呼び名でいつも叱咤激励して下さった恩師、坂本慶子先生。このように書いていても涙が溢れてきます。発足当時より歴史を築いてこられ、今はもうお声を聴くことが叶わないお二人含め諸先生方の、ショパンに対する想い、音楽に対する想いを、少しでも次世代へと継承すべく、私も今後、微力ながら精一杯協力させて頂きたいと思います。

函館

第53回 岡田照幸 公開講座
国際ショパンコンクールを巡って

第54回 吉田千紗 ピアノリサイタル

札幌

第113回 小林仁 公開レッスン

第114回 第17回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<予選>

第114回 第17回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<本選>

第115回 第17回北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞記念コンサート

函館

第55回 地区委員のための研究会 「名曲を楽しむ会」

第56回 岡田照幸 公開講座
第17回ショパン学生ピアノコンクール小学生課題曲講習会

第57回 岡田照幸 公開講座
第17回ショパン学生ピアノコンクール中学生課題曲講習会

第58回 岡田照幸 公開講座
第17回ショパン学生ピアノコンクール高校生課題曲講習会

第59回 ショパン生誕200年記念市民のための特別公開講座

第60回 ショパン生誕200年記念市民のためのコンサート

6.28
河合楽器製作所函館店2階

8.29
函館市芸術ホール

2010

2.28
カワイ札幌ショップ

4.17-18
札幌コンサートホール kitara 小ホール

5.16
札幌コンサートホール kitara 小ホール

8.21
札幌コンサートホール kitara 小ホール

1.16
レストラン ビーズビー

1.16
河合楽器製作所函館店2階

2.20
河合楽器製作所函館店2階

3.13
河合楽器製作所函館店2階

8.25
函館市芸術ホール

8.26
函館市芸術ホール

2011

9.28
札幌コンサートホール kitara 小ホール

札幌

第116回 ショパンの栄光とエピソード
～ショパンの最後期、Op.57以降の作品～

浅井 智子

第116回例会は「ショパンの栄光とエピソード ～ショパンの最後期、Op.57以降の作品を集めて～」というタイトルで開催され、対位法的な書法・洗練された形式・独創的な転調など、後期の作風が凝縮されたプログラムとなりました。

私は、ショパンの生前に作品番号付きで出版された最後の作品「ピアノとチェロのためのソナタ g-moll Op.65」を、チェリストの文屋治実さんと一緒に弾かせて頂きました。長年の親友フランショームとの共演を想定して作曲され、全楽章に渡ってチェロとピアノが対位的に展開し、《ピアノの詩人》であるショパンが新しい扉を開いた作品です。

技術面の難しさに加え、構成の理解、音色や表情の多彩さ、緻密なアンサンブルの細やかなニュアンスを求めて試行錯誤しているうちに終わってしまいましたので、ショパンの新たな境地とも言えるこの作品に、再び挑戦する機会があればと願っております。

例会開催にあたり、お世話になりました実行委員の先生方、事務局の皆さまに改めて感謝申し上げます。

116



函館

第61回 岡田照幸 公開講座 ベートーヴェン作品演奏法

札幌

第117回 小林仁 公開レッスン

隔年開催の北海道ショパン学生コンクールに先立ち、その予選課題曲による公開レッスンが開催されました。小林先生は長く日本ショパン協会会長を務められ、前記コンクールの審査もされています。公開レッスンは現在も継続して開催されていますが、小林先生が講師を務められたのは、第109回、第113回、第117回例会でした。会場は当時のカワイショップで、店舗にピアノが並ぶ中にスペースが作られ、楽譜を広げ熱心に聞き入る聴講者でいつも満席でした。先生は広い知識と豊かな経験をもとに、楽譜に書かれた音符から何を考え、読み解き、そこからどのように響きを作り、選択していくのか、ということを示してくださいました。ある曲で、一見、濁ってしまうようなペダルを、とりあえず楽譜通りに弾いてみる、そこから濁りではなく、響きの奥行となるような弾き方を探る、というお話をされ実践されていたことが印象深く思い出されます。多くの教示はショパンのみならず、あらゆるピアノ演奏の指針となったと思います。(記: 大川直美)

第118回 第18回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<予選>第118回 第18回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<本選>第119回 第18回北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞者記念コンサート7.31
河合楽器製作所函館店2階

2012

3.19
カワイ札幌ショップ4.21-22
札幌コンサートホール kitara 小ホール5.13
札幌コンサートホール kitara 小ホール8.19
札幌コンサートホール kitara 小ホール

2013

7.5
函館市芸術ホール

函館

第62回 チャリティーコンサート 畑中一映 ピアノリサイタル

札幌

9.25
札幌コンサートホール Kitara 小ホール

第120回 ショパンの作品とベルカント

函館

8.21
函館市芸術ホール

第63回 2013イカール国際ミュージックキャンプ
ガラコンサート

2014

3.17
カワイ札幌ショッブ

札幌

第121回 植田克己 ピアノ公開レッスン

4.19-20
札幌コンサートホール Kitara 小ホール

第122回 第19回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<予選>

5.18
札幌コンサートホール Kitara 小ホール

第122回 第19回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<本選>

8.24
札幌コンサートホール Kitara 小ホール

第123回 第19回北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞記念コンサート

函館

8.17
ホテル法華クラブ

第64回 2014イカール国際ミュージックキャンプ
ホテルコンサート

8.20
函館市芸術ホール

第64回 クラッシークラシック

札幌

第124回 2015北海道ショパンフェスティバル
第1夜 澤田一枝 ピアノリサイタル
第2夜 土井泰志 ピアノリサイタル
第3夜 坂田朋優 ピアノリサイタル



124

澤田 一枝

北海道ショパンフェスティバルは2015年に日本ショパン協会北海道支部の第124回例会として企画され、始まりました。2年に1度、3公演が連日開催されます。会場はカワイ札幌コンサートサロン「シュシュ」(定員75名)です。コンサートの形式はソロや連弾、室内楽等 多様性に富み、プログラムの選曲もショパンの作品を含むという他は、演奏者に任されており、自由度の高いコンサートです。

初年度は奇しくも第1夜は澤田のソロ(幻想ポロネーズ等)を皮切りに、第2夜は土井泰志氏によるショパン独奏と声楽・チェロをゲストに迎えた室内楽の世界(ショパン歌曲・チェロソナタ等)、第3夜は坂田朋優氏がポーランドの作曲家を中心としたプログラム(アンダンテスピアナートと華麗なる大ポロネーズ等)を演奏いたしました。

その後、2017、2019年にも北海道ショパンフェスティバルは開催され、これまでに延べ10名の会員が演奏者として参加しています。今後、ますます皆様のお見守り、河合楽器の方々のお力添えをいただきながらこの催しが定着し、たくさんの会員によってバトンが引き継がれていくことを願っております。

2015

5.22
カワイ札幌 ChouChou

11.5
札幌コンサートホール Kitara 小ホール

第125回 レクチャーコンサート

ショパンとベルカントのオペラ ノクターンの装飾法を中心に

第120回 ショパンの作品とベルカント

第125回 レクチャーコンサート

この2つの例会はショパンの作品とベルカントをテーマに行われました。

第120回プログラムの陣内支部長ご挨拶にもありますように、この時40周年を迎え、更に活動を深めていく上でも、ショパンの音楽の原点ともいえるこのテーマは大切な意味を持っていたと思います。

第120回は三浦洋先生のレクチャーと会員や学生による即興曲、夜想曲、変奏曲、舟唄の演奏、第125回は青柳いづみこ先生のレクチャーと針生美智子先生のベッリーニ、ロッシーニのオペラよりソプラノ独唱、江崎昌子先生のノクターン、ポロネーズの演奏でした。

ベルカント唱法が作品に与えた影響、ショパンが理想とした「歌うピアノ」を深く勉強する会となりました。

(記: 八田寿美恵)



120



125

2016

札幌

3.12
カワイ札幌 ChouChou

第126回 海老彰子 ピアノ公開レッスン

4.16-17
札幌コンサートホール Kitara 小ホール

第127回 第20回北海道ショパン学生ピアノコンクール
＜予選＞

5.15
札幌コンサートホール Kitara 小ホール

第127回 第20回北海道ショパン学生ピアノコンクール
＜本選＞

8.28
札幌コンサートホール Kitara 小ホール

第128回 第20回北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞記念コンサート

札幌

第129回 海老彰子 ピアノ公開レッスンと音楽講座

第130回 2017北海道ショパンフェスティバル
第1ステージ 秋元恵理子・浜島泰子
第2ステージ 平野雅子・畑中一映
第3ステージ 土井泰志

第131回 ショパンの室内楽と歌曲の夕べ

札幌

第132回 海老彰子 ピアノ公開レッスン

第133回 第21回北海道ショパン学生ピアノコンクール
＜予選＞

第133回 第21回北海道ショパン学生ピアノコンクール
＜本選＞

第134回 アレクサンドラ・シフィグット ピアノリサイタル

第135回 第21回北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞記念コンサート

札幌

第136回 2019北海道ショパンフェスティバル
第1ステージ 類家唯
第2ステージ 高実希子
第3ステージ 田口綾子

2017

1.16
札幌大谷大学 大谷記念ホール

5.13
カワイ札幌 ChouChou

9.5
札幌コンサートホール Kitara 小ホール

2018

3.17
カワイ札幌 ChouChou

4.14-15
札幌コンサートホール Kitara 小ホール

5.13
札幌コンサートホール Kitara 小ホール

6.6
カワイ札幌 ChouChou

8.26
札幌コンサートホール Kitara 小ホール

2019

5.11-12
カワイ札幌 ChouChou

9.26
札幌コンサートホール kitara 小ホール

第137回 ショパンとその縁(えにし)
～ショパンとショパンに係わりのあった作曲家の作品～

137

斉藤 香苗



2019年9月26日、「第137回例会ショパンとその縁」のコンサートに於いて、私は同時代の作曲家であるシューマンの最も美しい曲を選びました。

この曲は2台ピアノが常に語りかけるように歌い、抒情性の深い、甘美に満ち溢れる曲です。一緒に演奏して下さった棚橋妙子先生と研究し、横路朋子先生からアドバイスをいただき、時間をかけて曲を磨いたことを懐かしく思い出されます。他の方々の演奏曲は

ショパン、パデレフスキー、シューマン=ドビュッシーの楽曲で、優しさや繊細さがあり、時には力強いメッセージを感じる演奏でした。

振り返ると入場制限がなく、大勢の観客にご来場いただき、また出演者同士で懇親を深めることもできました。ここ2～3年は制限のあるコンサートが続いてますが、少しずつ当たり前の姿に戻りつつあります。そしてこれから、平和の響きが人々の心に届けられるコンサートに溢れることを祈ります。

2020

3.2
カワイ札幌 ChouChou

4.25-26
札幌コンサートホール kitara 小ホール

5.17
札幌コンサートホール kitara 小ホール

第138回 海老彰子 ピアノ公開講座 (開催中止)

第140回 第22回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<予選> (開催中止)

第140回 第22回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<本選> (開催中止)

第141回 2021北海道ショパンフェスティバル(開催中止)
第1ステージ 菊池春香
第2ステージ 影山裕子
第3ステージ 土井泰志

第142回 ショパンとその縁(えにし)～vol.2(開催中止)

2019年9月26日に開催された第137回「ショパンとその縁(えにし)」に引き続きPart IIとして2021年9月5日キタラ小ホールにて開催予定で準備を進め、当日を待つばかりとなっていました。直前の8月27日に札幌市からのコロナの緊急事態宣言発令によるホール側からの各公演の自粛要請により、協議を重ねた結果、止むなく中止となりました。

プログラムの内容としては、ショパンとショパンに係わりのあった作曲家の作品、また2022年に開催された北海道ショパン学生ピアノコンクールの課題曲として新設された3.4年生部門や5.6年生の課題曲なども取り上げ、ソロ、2台ピアノを含め、8名の出演者による盛り沢山のプログラムで構成されていました。当日を心待ちにされていた多くの方々にとりまして大変残念な結果となりました。(記:横路朋子)

第143回 植田克己 ピアノ公開レッスン

第144回 第22回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<予選>

第144回 第22回北海道ショパン学生ピアノコンクール
<本選>

第145回 第22回北海道ショパン学生ピアノコンクール
受賞記念コンサート

142



2021

5.15-16
カワイ札幌 ChouChou

9.5
札幌コンサートホール kitara 小ホール

2022

3.19
カワイ札幌 ChouChou

4.23-24
札幌コンサートホール kitara 小ホール

5.15
札幌コンサートホール kitara 小ホール

8.21
札幌コンサートホール kitara 小ホール



例会
思い出
スナップ



ショパン音楽祭
15周年記念より
8台32手

ショパン音楽祭
20周年記念より
10台40手



北海道ショパン学生ピアノコンクールのあゆみ

- ・受賞者一覧
- ・コンクール課題曲(第1回~第22回)
- ・審査員一覧

第1回

日時：1978年11月5日(日)
会場：北海道新聞社ホール

《小学生の部》	《中学生の部》	《高校生の部》
金賞・カワイ音楽奨励賞 八木田倫代	金賞・カワイ音楽奨励賞 瀬野恵美子	金賞・北海道新聞社賞 及川 早苗
銀賞 国谷 尊之	銀賞 武田真紀子	銀賞 忠津 真理
銅賞 二川 淳	銅賞 和久井万里	銅賞 松崎 彰子
奨励賞 加藤 卓哉	奨励賞 那須理恵子 岡添 暢子	奨励賞 阿部さゆり 小野寺治子

第2回

日時：1980年6月8日(日)
会場：札幌共済ホール

《小学生の部》	《中学生の部》	《高校生の部》
金賞・カワイ音楽奨励賞 田中亜紀子	金賞・カワイ音楽奨励賞 小岩亜由美	金賞・北海道新聞社賞 和久井万里
銀賞 揚原 祥子	銀賞 豊国 晶子	銀賞 桜井ちとし
銅賞 田口 綾子	銅賞 安念希良子 小幡 志保	銅賞 植松るり子 武田真紀子 北川 由美

第3回

日時：1982年5月9日(日)
会場：北海道新聞社ホール

《小学生の部》	《中学生の部》	《高校生の部》
金賞・カワイ音楽奨励賞 民門ちず子	金賞・カワイ音楽奨励賞 清野 尚也	金賞・北海道新聞社賞 豊国 晶子
銀賞 藤井 千春	銀賞 土井 泰志	銀賞 該当者なし
銅賞 佐々木智美	銅賞 高橋 麻美	銅賞 金 美香 小野 由恵
奨励賞 安田 文子	奨励賞 宮木 恵子 横山 琢哉	

第4回

日時：1984年5月5日(日)
会場：北海道新聞社ホール

《小学生の部》	《中学生の部》	《高校生の部》
金賞・カワイ音楽奨励賞 齊藤 緑	金賞・カワイ音楽奨励賞 土井 泰志	金賞・北海道新聞社賞 角野 彰
銀賞 宮木 恭子	銀賞 小西 由晃	銀賞 今林 直美
銅賞 鳥谷部美帆	銅賞 富澤 佳代 安田 文子	銅賞 林 茶苗 宮木 恵子

受賞者の声

第1回
中学生の部
金賞受賞
塚原恵美子さん
(旧姓 瀬野)

中学2年生になって少し経った頃、北海道新聞の紙面に「第1回北海道ショパン学生ピアノコンクール開催」の記事を見つけました。大きい記事ではなかったのですが、それまでコンクールに縁の無かった私にはキラキラ輝いて見えました。その後、恩師からコンクールへの参加を勧められた時は、驚きと嬉しさで夢のようでした。小さい頃からピアノが大好きで楽しく続けていましたが、大きく心が突き動かされた瞬間だったと思います。

中学生の部は予選がエチュード Op. 25-2 と Op. 25-9、本選はスケルツォ 1～3 番の中から一曲選択でしたので、先生のアドバイスを受けて2番を選びました。私にとっては難易度の高い課題でしたが、弾けば弾くほどショパンの美しさや奥深さに引き込まれ、練習を進める度に少しずつ達成感が得られる充実した日々でした。

当時の私は賞にはこだわりが無く、自分の音楽をステージで思い切り表現することそのものが喜びで、後にも先にもあれほど純粋な気持ちで演奏できたことはなかったと思います。それが良い結果へ繋がったのかもしれない。

本気でやり遂げた先に見える世界があること、地道に継続していくことが更に大切であること、他にも多くのことを学ばせていただきました。このコンクールの記憶の全てが、私の宝物です。

昨年第22回を迎えた北海道ショパン学生ピアノコンクールが今後も発展し、多くのショパニストを育ててくれることを祈念いたします。

第 5 回

日時：1986年5月18日(日)
会場：北海道新聞社ホール

《小学生の部》

- 金 賞・カワイ音楽奨励賞**
山崎早登美
銀 賞 永村 千尋
銅 賞 泉山 ゆり

《中学生の部》

- 金 賞・カワイ音楽奨励賞**
斉藤 緑
銀 賞 安田 文子
銅 賞 高橋健一郎

《高校生の部》

- 金 賞・北海道新聞社賞**
宮木 恵子
銀 賞 該当者なし
銅 賞 畑中 一映
川上 敦子
奨励賞 古山三知代

第 6 回

日時：1988年5月3日(日)
会場：北海道新聞社ホール

《小学生の部》

- 金 賞・カワイ音楽奨励賞**
赤井 裕美
銀 賞 大野真理子
銅 賞 吉田 操織
明上山貴代
奨励賞 白杵里江子

《中学生の部》

- 金 賞・カワイ音楽奨励賞**
永村 千尋
銀 賞 橘高 昌男
銅 賞 細川 幸恵
伊藤 野苗

《高校生の部》

- 金 賞・北海道新聞社賞**
該当者なし
銀 賞 高橋健一郎
銅 賞 松山 民美
佐藤 芳美

第 7 回

日時：1990年5月13日(日)
会場：北海道新聞社ホール

《小学生の部》

- 金 賞・カワイ音楽奨励賞**
坂田 朋優
銀 賞 猪谷久美子
銅 賞 大石奈穂子

《高校生の部》

- 金 賞・北海道新聞社賞**
北島 聡子
銀 賞 大沢るり子
銅 賞 鳥谷部美帆
大沢 珠子

《大学生の部》

- 金 賞・北海道新聞社賞**
畑中 一映
銀 賞 伊藤 明子
銅 賞 清水 圭
佐藤 芳美

《中学生の部》

- 金 賞・カワイ音楽奨励賞**
宮部 哲居
銀 賞 明上山貴代
銅 賞 赤井 裕美
奨励賞 橋野 沙綾
佐藤奈都美
福田安樹子



第7回 北海道ショパン学生ピアノコンクールを思い起こして

第7回
大学生の部
金賞
北海道新聞社賞
受賞
畑中一映さん
市立函館病院
消化器内科科長

日本ショパン協会北海道支部創立50周年、誠にありがとうございます。協会の維持・発展にご尽力されてきた歴代支部長始め、関係皆様方に心より敬意を表します。

1990年に開催された第7回のコンクールでは大学生の部が新設されました。予選は24の前奏曲から16～19番、本選はアレグロ・ド・コンセールという初めて耳にする難曲でしたが、幸運にも大学生の部金賞を頂くことが出来ました。同年、支部長遠藤道子先生のおはからいで、ヤン・エキエル公開レッスンの受講生となるなど、大変貴重な経験を積ませて頂きました。

医師となった今も自分のペースでピアノを継続しています。2012年オールショパンリサイタル、2017年北海道ショパンフェスティバルで平野雅子さんとジョイントリサイタル、2015年と2018年にはワルシャワで3年毎に開催されるアマチュアのためのショパン国際ピアノコンクールに2大会連続で入賞して参りました。朝はショパンのエチュードを弾いてからの出勤です。音楽を職業にすることは大変な時代になりましたが、音楽はどこまでも深めていくことが出来ると思います。以前は気づかなかった曲が心に響いたり、成長とともに解釈も変わります。学生時代コンクールで切磋琢磨したメンバーと一緒に演奏する喜びもあります。これからコンクールに挑戦される方々が、素晴らしい指導者が沢山いるこの北海道で、心の財産となる音楽の礎を築かれていくことを願い、お祝いの言葉とさせていただきます。

第8回

日時：1992年5月10日(日)
会場：北海道新聞社ホール

《小学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
松本 望
- 銀賞** 佐藤 香奈
- 銅賞** 滝田 愛美

《高校生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
高松 大介
- 銀賞** 佐藤奈都美
- 銅賞** 大沢千津子

《大学生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
石田 敏明
- 銀賞** 該当者なし
- 銅賞** 松井 亜樹
橋本 卓三

《中学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
赤松林太郎
- 銀賞** 赤井 裕美
- 銅賞** 該当者なし
- 奨励賞** 佐藤 貴洋
佐藤さくら

第9回

日時：1994年5月15日(日)
会場：北海道新聞社ホール

《小学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
古口 華子
- 銀賞** 重信 香織
- 銅賞** 富樫 文香
- 奨励賞** 幅田詠里子
広田 怜

《高校生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
坂田 朋優
- 銀賞** 金野加代子
- 銅賞** 佐々木 麗
- 奨励賞** 関 葉月
松田 美樹

《大学生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
該当者なし
- 銀賞** 益井 直美
- 銅賞** 佐藤 詩朗

遠藤賞 坂田 朋優

《中学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
荒川茉莉子
- 銀賞** 本間かおり
- 銅賞** 伊藤 徳朗
- 奨励賞** 太田 有香

第10回

日時：1996年5月12日(日)
会場：かでの2.7ホール

《小学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
安江 麻菜
- 銀賞** 牧村留美子
- 銅賞** 小口 真奈
- 奨励賞** 山神香菜子
堀田 藍香

《高校生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
仁藤 麻衣
- 銀賞** 片山 暁美
- 銅賞** 盛合 里奈

《大学生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
明上山貴代
- 銀賞** 大沢千津子
- 銅賞** 細川 幸恵

遠藤賞 明上山貴代

《中学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
小崎ゆかり
- 銀賞** 富樫 文香
- 銅賞** 大村 優子
- 奨励賞** 外山 啓介

第11回

日時：1998年5月10日(日)
会場：かでの2.7ホール

《小学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
岩田真由美
- 銀賞** 山上香菜子
- 銅賞** 杉山亜由美
- 奨励賞** 酒井 利基
伊藤由貴子

《高校生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
木曾 育恵
- 銀賞** 小崎ゆかり
- 銅賞** 大村 優子
- 奨励賞** 高橋 亜里
和蛇田 雅

《大学生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
金野加代子
- 銀賞** 放生 有沙
- 銅賞** 野瀬 槇子

遠藤賞 金野加代子

《中学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
安江 麻菜
- 銀賞** 武智 静子
- 銅賞** 川崎真里依
- 奨励賞** 成田 研人
三井 順子

第12回

日時：2000年5月7日(日)
会場：かでの2.7ホール

《小学生の部》
金賞・カワイ音楽奨励賞
該当者なし
銀賞 生田 華子
浦山 瑠衣
銅賞 村山 舞

《高校生の部》
金賞・北海道新聞社賞
御法川恵里奈
銀賞 外山 啓介
銅賞 安江 麻菜

《大学生の部》
金賞・北海道新聞社賞
該当者なし
銀賞 森 直美
銅賞 仁藤 麻衣

遠藤賞 御法川恵里奈

《中学生の部》
金賞・カワイ音楽奨励賞
小島 香織
銀賞 佐野 主聞
銅賞 西澤 秋野
奨励賞 伊藤由貴子

第13回

日時：2002年5月12日(日)
会場：かでの2.7ホール

《小学生の部》
金賞・カワイ音楽奨励賞
伏木 唯
銀賞 大平 達也
銅賞 野平 枝里
飯田 萌優
奨励賞 岡部 未来

《高校生の部》
金賞・北海道新聞社賞
村田 孝樹
銀賞 霜山 茉莉
銅賞 金沢 希
奨励賞 伊藤 千尋

《大学生の部》
金賞・北海道新聞社賞
竹田 圭吾
銀賞 小崎ゆかり

遠藤賞 竹田 圭吾

《中学生の部》
金賞・カワイ音楽奨励賞
中村 育
生田 華子
銀賞 番場花菜子
安江 梨菜

第14回

日時：2004年5月9日(日)
会場：札幌コンサートホール kitara 小ホール

《小学生の部》
金賞・カワイ音楽奨励賞
反保 沙季
銀賞 玉野 賢人
銅賞 濱 みゆき
奨励賞 吉田 悠祐
石若 駿

《高校生の部》
金賞・北海道新聞社賞
高橋 勇人
銀賞 亀山ゆりえ
銅賞 伊藤由貴子
奨励賞 安達 有香
石戸谷裕樹

《大学生の部》
金賞・北海道新聞社賞
該当者なし
銀賞 該当者なし
銅賞 安江 麻菜
奨励賞 五十嵐理実

遠藤賞 大平 達也

《中学生の部》
金賞・カワイ音楽奨励賞
大平 達也
銀賞 鈴木 絢子
銅賞 伊東菜亜美
奨励賞 永沼絵里香
押切 雄太
石井 敏貴

受賞者の声

第12回
高校生の部
銀賞受賞
外山啓介さん
札幌大谷大学 音楽学科
特任准教授
洗足学園音楽大学
桐朋学園大学
非常勤講師

日本ショパン協会北海道支部創立50周年、誠におめでとうございます。

演奏活動を始めて15年以上の月日が経ちましたが、思い返してみるととても多くのショパンの作品を演奏させていただきました。

幼い頃から憧れ続けてきたショパン。一番最初のきっかけはテレビで放送されていたシプリアン・カツァリス氏のマスタークラスでした。素晴らしい音楽に一瞬で魅了されたのを鮮明に覚えています。

また、学生時代に北海道ショパン学生ピアノコンクールに出場させていただいたこともとてもよい思い出です。課題曲を学ぶ過程において、旋律やハーモニーの美しさだけでなく端正で意思の強さが真のショパンの魅力であると気づかされる大きなきっかけとなりました。

これからも北海道からたくさんのショパニストが誕生すること、そして日本ショパン協会北海道支部のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

第15回

日時：2006年4月30日(日)
会場：札幌コンサートホール kitara 小ホール

《小学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
横山 瑠佳
- 銀賞**
水口 真由
- 銅賞**
新庄 龍馬
福森 百伽
小松 祥子
- 奨励賞**
山崎奈々子
廣尾 公亮

《中学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
反保 沙季
- 銀賞**
吉田 悠祐
福原 実育
- 銅賞**
宮阪 優奈
飯田 萌優
伊東菜亜美
- 奨励賞**
斉藤 直樹
藤本 志帆
石井 敏貴
鈴村 由貴

《高校生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
該当者なし
- 銀賞**
菅原 彩里
- 銅賞**
五十嵐さとえ
- 奨励賞**
浅野真智子
- 《大学生の部》
- 金賞・北海道新聞社賞**
該当者なし
- 銀賞**
塩田 亜未
- 銅賞**
阿部 結奈
- 遠藤賞**
反保 沙季

第16回

日時：2008年5月11日(日)
会場：札幌コンサートホール kitara 小ホール

《小学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
片山 柊
- 銀賞**
杉本 萌子
今井比可里
- 銅賞**
千葉 悠也
武田 紗季
- 奨励賞**
佐々木理乃
佐藤亜沙美
加藤 愛理

《中学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
吉田 悠祐
- 銀賞**
玉野 賢人
- 銅賞**
新庄 龍馬
水口 真由
- 奨励賞**
澤井くるみ
清水 柚衣

《高校生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
伏木 唯
- 銀賞**
該当者なし
- 銅賞**
藤本 志帆
- 《大学生の部》
- 金賞・北海道新聞社賞**
中島 幸治
- 銀賞**
尾崎 友香
- 遠藤賞**
伏木 唯

第17回

日時：2010年5月16日(日)
会場：札幌コンサートホール kitara 小ホール

《小学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
武藤 有花
- 銀賞**
山崎美奈子
- 銅賞**
成毛 涼香
古川 佳奈
- 奨励賞**
小作ほの香
砺波 若那

《中学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
片山 柊
- 銀賞**
清水 柚衣
新庄 龍馬
- 銅賞**
小泉 奈菜

《高校生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
吉田 悠祐
- 銀賞**
山田 智史
- 銅賞**
水口 真由
菊池 春香
- 奨励賞**
飯田 萌優
- 《大学生の部》
- 金賞・北海道新聞社賞**
小林 由佳
- 銀賞**
井上早耶華
- 銅賞**
澤田恵梨子

第18回

日時：2012年5月13日(日)
会場：札幌コンサートホール kitara 小ホール

《小学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
平山 結子
- 銀賞**
荒川 浩毅
川口 貴史
- 銅賞**
荒井 愛海
仙座功太郎
- 奨励賞**
崎野 なな
谷藤 全

《中学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
宮本 桃花
- 銀賞**
加藤 愛理
- 銅賞**
三本木力哉
古川 佳奈
松田 祐佳
- 奨励賞**
渡辺 彩乃
平田 朱音
高橋はるか

《高校生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
新庄 龍馬
- 銀賞**
下田絵梨花
- 銅賞**
早川日奈子
青山 瑤南
齋藤 玲奈
- 《大学生の部》
- 金賞・北海道新聞社賞**
樋口 智樹
- 銀賞**
星 洋樹
- 銅賞**
飯田 萌優
- 奨励賞**
押切 雄太

第19回

日時：2014年5月18日(日)
会場：札幌コンサートホール kitara 小ホール

《小学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
谷藤 全
- 銀賞**
菅原 涼香
畷村伊央加
- 銅賞**
和佐 梨加
高杉 美優

《中学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
荒川 浩毅
- 銀賞**
渡辺 彩乃
古川 佳奈
- 銅賞**
仙座功太郎
家納 まり
- 奨励賞**
城田 実優
浅野日南英

《高校生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
瀬戸 敬太
- 銀賞**
加藤 愛理
- 銅賞**
松谷 直巳
- 奨励賞**
大橋 綾夏
松田 祐佳

《大学生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
清水 柚衣
- 銀賞**
田中 望未

審査員特別賞

- 荒川 浩毅

第20回

日時：2016年5月15日(日)
会場：札幌コンサートホール kitara 小ホール

《小学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
小林 晴哉
小原慎太郎
- 銀賞**
庄司 大和
- 銅賞**
畠山 真緒
佐孝 凛
- 奨励賞**
中島 紬
杉山 瑞歩
近藤あかり

《中学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
土肥 慶
- 銀賞**
高松 果凜
- 銅賞**
平山 結子
半田 愛
宮嶋 朝視

《高校生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
小作ほのか
- 銀賞**
小瀧 悠人
宮本 桃花
- 銅賞**
渋川桜也香
- 奨励賞**
平田 朱音

《大学生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
元由麻理香
- 銀賞**
林 佳穂
- 銅賞**
齊藤 聖奈
道端 玲音

第21回

日時：2018年5月13日(日)
会場：札幌コンサートホール kitara 小ホール

《小学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
山平 爽太
- 銀賞**
清水 唯花
鈴木 菜咲
- 銅賞**
安田 未来
星 陽太
- 奨励賞**
小林 照弥
高橋 玲奈
井口 湊玖

《中学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
高松 果凜
- 銀賞**
佐藤 神夢
小林 晴哉
- 銅賞**
鳥居 春菜
中島 紬
- 奨励賞**
高橋 茉那
宮崎 夏帆
横山 華月
小出みなみ

《高校生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
西坂 望
- 銀賞**
半田 愛
- 銅賞**
深瀬 佳楠
本堂 笙子
- 奨励賞**
鶴田 奈々

《大学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
三本木力哉
- 銀賞**
小西 裕太
- 銅賞**
大橋 綾夏

審査員特別賞

- 高松 果凜

第22回

日時：2022年5月15日(日)
会場：札幌コンサートホール kitara 小ホール

《小学3・4年生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
井上 怜音
- 銀賞**
天沼そよ花
- 銅賞**
照井 慧悟
- 奨励賞**
小清水駿斗

《小学5・6年生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
青野 資龍
- 銀賞**
多谷 奏良
- 銅賞**
中川 春花
- 奨励賞**
河邊 茉実
麻生紗耶香
服部 結寧

《中学生の部》

- 金賞・カワイ音楽奨励賞**
山平 爽太
- 銀賞**
佐藤 史悠
川合 快歩
- 銅賞**
松下 征樹
石田 結愛
- 奨励賞**
横窪悠梨椰
高村 遥仁

《高校生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
小林 晴哉
- 銀賞**
谷村 奏
- 銅賞**
羽田 真央
- 奨励賞**
佐孝 凛

《大学生の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
小野 心音
- 銀賞**
仙座功太郎
- 銅賞**
該当者なし
- 奨励賞**
佐川 慶

《一般の部》

- 金賞・北海道新聞社賞**
古川 佳奈
- 銀賞**
村越 和基
- 銅賞**
該当者なし
- 奨励賞**
齋藤 玲奈

審査員特別賞

- 青野 資龍



結果発表の張り出し



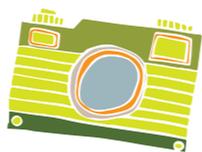
審査風景



第1回表彰授与の様子

photo Gallery

写真で振り返る
ショパン学生ピアノコンクール



ヘゲデウシュ先生による講評とそれを通訳する黒川先生



遠藤道子先生による表彰授与



第11回受賞者集合写真



黒川先生による表彰授与



陣内尚子先生による表彰授与



田村宏先生による講評



第1回受賞者集合写真



遠藤道子先生による表彰授与



高岡立子先生による表彰授与



第20回受賞者集合写真

■ 第1回 ■

部門	予選	本選
小学生	ワルツ へ長調 作品 34-3	3つのエコセーズ 作品 72-3,4,5
中学生	練習曲 へ短調 作品 25-2 練習曲 変ト長調 作品 25-9 ※2曲とも演奏	スケルツォ 口短調 作品 20 スケルツォ 変口短調 作品 31 スケルツォ 嬰八短調 作品 39 ※任意の1曲を選択
高校生	24の前奏曲 作品 28 より No.8 (嬰へ短調) No.9 (ホ長調) No.10 (嬰八短調) ※3曲とも演奏	バラード ト短調 作品 23 バラード へ長調 作品 38 バラード 変イ長調 作品 47 ※任意の1曲を選択

■ 第2回 ■

部門	予選	本選
小学生	ワルツ ホ短調 遺作 ワルツ 変二長調 作品 64-1(小犬) ※任意の1曲を選択	即興曲 変イ長調 作品 29 幻想即興曲 嬰八短調 作品 66 ※任意の1曲を選択
中学生	練習曲 八長調 作品 10-7 練習曲 変イ長調 作品 25-1 ※2曲とも演奏	ドイツ民謡による変奏曲 ホ長調 遺作 華麗な変奏曲 変口長調 作品 12 ※2曲中より任意の1曲を選択
高校生	24の前奏曲 作品 28 より No.17 (変イ長調) No.18 (へ短調) No.19 (変ホ長調) ※3曲とも演奏	スケルツォ 嬰八短調 作品 39 スケルツォ ホ長調 作品 54 ※2曲中より任意の1曲を選択

■ 第3回 ■

部門	予選	本選
小学生	ワルツ 変ト長調 作品 70-1 ワルツ 変イ長調 遺作 ※任意の1曲を選択	ポロネーズ 嬰ト短調 遺作
中学生	ノクターン 嬰へ長調 作品 15-2 練習曲 八短調 作品 25-12 ※2曲とも演奏	ロンド・ア・ラ・マズール へ長調 作品 5
高校生	24の前奏曲 作品 28 より No.23 (へ長調) No.24 (二短調) ※2曲とも演奏	ポロネーズ 嬰へ短調 作品 44 ポロネーズ 変イ長調 作品 53 ※任意の1曲を選択

■ 第4回 ■

部門	予選	本選
小学生	ワルツ 嬰八短調 作品 64-2	ポロネーズ 変口長調 作品 71-2
中学生	ノクターン へ長調 作品 15-1	ポレロ 八長調 作品 19
高校生	練習曲 イ短調 作品 10-2 マズルカ 嬰八短調 作品 63-3 ※2曲とも演奏	バラード ト短調 作品 23 バラード へ長調 作品 38 ※任意の1曲を選択

■ 第5回 ■

部門	予選	本選
小学生	ワルツ 変イ長調 Op.64-3	ポロネーズ 二短調 Op.71-1
中学生	即興曲 嬰へ長調 Op.36	スケルツォ 口短調 Op.20
高校生	ノクターン ホ長調 Op.62-2	舟歌 嬰へ長調 Op.60

■ 第6回 ■

部門	予選	本選
小学生	A. ワルツ 作品 42 変イ長調 B. ワルツ 作品 70-2 へ短調 ※2曲中より1曲選択	即興曲 作品 29 変イ長調 ポロネーズ 遺作 変イ長調
中学生	練習曲 作品 25-5 ホ短調	スケルツォ 作品 31 変口短調 スケルツォ 作品 39 嬰八短調
高校生	練習曲 遺作 へ短調 練習曲 作品 10-1 八長調 ※2曲とも演奏	バラード 作品 47 変イ長調 幻想曲 作品 49 へ短調 ※各部門とも2曲中より1曲選択

■ 第7回 ■

部門	予選	本選
小学生	3つのエコセーズ 作品 72-3,4,5 ※ 3曲とも演奏	ワルツ 遺作 木短調
中学生	タランテラ 作品 43 変イ長調	プレリュード 遺作 変イ長調 子守唄 作品 57 変二長調 ※ 2曲とも演奏
高校生	練習曲 作品 10-11 変木長調 ノクターン 作品 55-2 変木長調 ※ 2曲とも演奏	スケルツォ 作品 54 木長調
大学生	プレリュード 作品 28 No.16,17,18,19 ※ 当日演奏曲を指定	アレグロ・ド・コンセール 作品 46 イ長調

■ 第8回 ■

部門	予選	本選
小学生	ワルツ へ長調 作品 34-3 ワルツ 変二長調 作品 70-3 ※ 2曲中より任意の1曲を選択	即興曲 変イ長調 作品 29 幻想即興曲 嬰八短調 作品 66 ※ 2曲中より任意の1曲を選択
中学生	練習曲 変イ長調 作品 25-1 練習曲 へ短調 作品 25-2 ※ 2曲とも演奏	スケルツォ 口短調 作品 20 スケルツォ 嬰八短調 作品 39 ※ 2曲中より任意の1曲を選択
高校生	マズルカ 二長調 作品 33-2 練習曲 八短調 作品 10-12 練習曲 変二長調 作品 25-8 ※ 練習曲は2曲中より任意の1曲を選択	バラード 変イ長調 作品 47
大学生	練習曲 変イ長調 作品 10-10 練習曲 イ短調 作品 25-11 ※ 2曲とも演奏	ソナタ 変口短調 作品 35 第1楽章 ソナタ 口短調 作品 58 第1楽章 ※ 2曲中より任意の1曲を選択

■ 第9回 ■

部門	予選	本選
小学生	ワルツ 変二長調 Op.64-1 ワルツ 嬰八短調 Op.64-2 ワルツ 変イ長調 Op.64-3 ※ 3曲中より任意の1曲を選択	ポロネーズ 二短調 Op.71-1 ポロネーズ 変口長調 Op.71-2 ポロネーズ へ短調 Op.71-3 ポロネーズ ト短調 遺作 ポロネーズ 変口長調 遺作 ポロネーズ 変イ長調 遺作 ポロネーズ 嬰ト短調 遺作 ポロネーズ 変口短調 遺作 ポロネーズ 変ト長調 遺作 ※ 9曲中より任意の1曲を選択
中学生	即興曲 変イ長調 Op.29 即興曲 嬰へ長調 Op.36 即興曲 変ト長調 Op.51 即興曲 嬰八短調 Op.66(幻想) ※ 4曲中より任意の1曲を選択	ロンド 八短調 Op.1 華麗なる変奏曲 変口長調 Op.12 ※ 2曲中より任意の1曲を選択
高校生	A. 練習曲 へ短調 Op.10-9 A. 練習曲 変ト長調 Op.25-9 B. 練習曲 変ト長調 Op.10-5 B. 練習曲 へ長調 Op.25-3 ※ A、B どちらかを選択して2曲演奏	スケルツォ 口短調 Op.20 スケルツォ 嬰八短調 Op.39 スケルツォ 変口短調 Op.31 スケルツォ 木長調 Op.54 ※ 4曲中より任意の1曲を選択
大学生	プレリュード Op.28 より No.21 No.22 No.23 No.24 ※ 4曲とも演奏	バラード ト短調 Op.23 バラード 変イ長調 Op.47 バラード へ長調 Op.38 バラード へ短調 Op.52 ※ 4曲中より任意の1曲を選択

■ 第10回 ■

部門	予選	本選
小学生	ワルツ 変イ長調 Op.42 ワルツ 変二長調 Op.70-3 ※ 2曲中より任意の1曲を選択	3つのエコセーズ Op.72-3.4.5
中学生	エチュード 変イ長調 Op.25-1 エチュード 変ト長調 Op.10-5 ※ 2曲とも演奏(上記の順に演奏)	ドイツ民謡による変奏曲 木長調 遺作
高校生	エチュード 嬰八短調 Op.10-4 ヘクサメロン 変奏曲 木長調 遺作 ※ 2曲とも演奏(上記の順に演奏)	ポロネーズ 嬰へ短調 Op.44
大学生	エチュード 八長調 Op.10-1 エチュード 八長調 Op.10-7 エチュード へ長調 Op.10-8 ※ 3曲中より任意の2曲を選択(演奏順は自由)	ファンタジー へ短調 Op.49

■ 第11回 ■

部門	予選	本選
小学生	ワルツ As-dur 遺作 ワルツ E-dur 遺作 ※ 2曲中より任意の1曲を選択	アンプロムブチュ As-dur Op.29 アンプロムブチュ Fis-dur Op.36 ※ 2曲中より任意の1曲を選択
中学生	エチュード As-dur Op.10-10 エチュード Ges-dur Op.25-9 ※ 2曲とも演奏(上記の順に演奏)	ポロネーズ B-dur Op.71-2(遺作)
高校生	マズルカ Fis-moll Op.6-1 エチュード F-dur Op.25-3 ※ 2曲とも演奏(上記の順に演奏)	バラード As-dur Op.47
大学生	プレリュード E-dur Op.28-9 プレリュード cis-moll Op.28-10 プレリュード H-dur Op.28-11 プレリュード gis-moll Op.28-12 ※ 4曲とも演奏(上記の順に演奏)	ソナタ c-moll Op.4 No.1 第1楽章

■ 第12回 ■

部門	予選	本選
小学生	ワルツ No.6 Des-dur Op.64-1 ワルツ No.7 cis-moll Op.64-2 ※ 2曲中より任意の1曲を選択	ポロネーズ f-moll Op.71-3 ※ 繰り返し無し、ただし、ダ・カーポあり
中学生	3つの新しい練習曲 No.1 f-moll No.2 Des-dur No.3 As-dur ※ 3曲の中から2曲選択	ボレロ C-dur Op.19
高校生	エチュード a-moll Op.10-2 エチュード c-moll Op.10-12 エチュード Des-dur Op.25-8 ※ 3曲の中から2曲選択	バラード No.2 F-dur Op.38
大学生	マズルカ a-moll Op.59-1 マズルカ As-dur Op.59-2 マズルカ fis-moll Op.59-3 エチュード e-moll Op.25-5 ※ マズルカ 3曲の中から2曲選択、 エチュードを併せ演奏する事	バラード No.4 f-moll Op.52

■ 第13回 ■

部門	予選	本選
小学生	ノクターン 八短調 遺作 ポロネーズ ト短調 遺作 ワルツ ホ長調 遺作 ※ 3曲中より任意の1曲を選択	ワルツ 変イ長調 作品 64-3
中学生	ノクターン ホ短調 作品 72-1 ノクターン ヘ短調 作品 55-1 ポロネーズ 嬰八短調 作品 26-1 ※ 3曲中より任意の1曲を選択	タランテラ 変イ長調 作品 43
高校生	子守歌 変二長調 作品 57 エチュード ホ長調 作品 10-3 ノクターン 嬰ヘ長調 作品 15-2 ※ 3曲中より任意の1曲を選択	スケルツォ 第4番 ホ長調 作品 54
大学生	24の前奏曲 作品 28 から 第23番 ヘ長調及び第24番 二短調 ノクターン ホ長調 作品 62-2 エチュード ホ短調 作品 25-5 ※ 3曲中より任意の1曲を選択	バルカローレ 嬰ヘ長調 作品 60

■ 第14回 ■

部門	予選	本選
小学生	ワルツ 変イ長調 1827年作 遺作 ワルツ 変ト長調 Op.70-1 ノクターン 変ホ長調 Op.9-2 ※ 3曲中より任意の1曲を選択	3つのエコセーズ Op.72-3,4,5 二長調 ト長調 変二長調
中学生	ポロネーズ イ長調 Op.40-1「軍隊」 ノクターン ロ長調 Op.32-1 ※ 2曲中より任意の1曲を選択	アンプロンプチュ 第3番 変ト長調 Op.51
高校生	1. プレリュード op28 から No.3 と No.4 2. プレリュード op28 から No.11 と No.12 ※ どちらか1組を選択	マズルカ ホ長調 Op.6-3 ノクターン 第17番 ロ長調 Op.62-1 ※ 2曲とも演奏
大学生	エチュード Op.10 Op.25 より ※ 任意の1曲を選択	ピアノソナタ 第3番 ロ短調 Op.58 第1楽章

■ 第15回 ■

部門	予選	本選
小学生	ノクターン ヘ長調 Op.15-1 ワルツ ヘ長調 Op.34-3 ※ 任意の1曲を選択	アンプロンプチュ 変イ長調 Op.29
中学生	1. エチュード 変イ長調 Op.25-1、ホ短調 Op.25-5 2. エチュード ヘ短調 Op.10-9 ※ どちらか1組を選択	1. 華麗なる変奏曲 変ロ長調 Op.12 2. ドイツ民謡による変奏曲 ホ長調 Op.Posth ※ 任意の1曲を選択
高校生	エチュード 変ホ長調 Op.10-11 エチュード 嬰八短調 Op.25-7 ※ 任意の1曲を選択	1. ロンド 八短調 Op.1 2. マズルカ 嬰八短調 Op.50-3 ※ 任意の1曲を選択
大学生	ノクターン 八短調 Op.48-1 エチュード ロ短調 Op.25-10 ※ 任意の1曲を選択	ピアノソナタ 第2番 変ロ短調 Op.35 第1楽章

■ 第16回 ■

部門	予選	本選
小学生	ワルツ 変イ長調 Op.64-3 ワルツ 変ト長調 Op.70-1 ワルツ ヘ短調 Op.70-2 ワルツ 変二長調 Op.70-3 ※ 任意の1曲を選択	ポロネーズ 嬰ト短調 遺作 変ロ短調 遺作 変ト長調 遺作 ※ 任意の1曲を選択
中学生	A. マズルカ 変ロ長調 Op.7-1 A. マズルカ 変ロ長調 Op.17-1 B. エチュード 変二長調 遺作 B. エチュード 変イ長調 遺作 ※ Aより任意の1曲とBより任意の1曲を 選択し合計2曲を演奏	スケルツォ ロ短調 Op.20 ポロネーズ 変ホ短調 Op.26-2 ※ 任意の1曲を選択
高校生	A. マズルカ 二長調 Op.33-2 A. マズルカ 変イ長調 Op.50-2 A. マズルカ 変イ長調 Op.59-2 A. マズルカ 嬰ヘ短調 Op.59-3 B. エチュード 嬰八短調 Op.10-4 B. エチュード 八長調 Op.10-7 B. エチュード ヘ長調 Op.10-8 ※ Aより任意の1曲とBより任意の1曲を 選択し合計2曲を演奏	バラード 変イ長調 Op.47 スケルツォ ホ長調 Op.54 ポロネーズ 嬰ヘ短調 Op.44 ※ 任意の1曲を選択
大学生	A. マズルカ Op.41 嬰八短調 Op.41-1 ホ短調 Op.41-2 ロ長調 Op.41-3 変イ長調 Op.41-4 B. エチュード 八長調 Op.10-1 変イ長調 Op.10-10 イ短調 Op.25-11 八短調 Op.25-12 ※ Aより任意の2曲とBより任意の1曲を 選択し、合計3曲を演奏	幻想ポロネーズ 変イ長調 Op.61 ソナタ 第3番 ロ短調 Op.58 第3,4楽章 任意の1曲を選択

■ 第17回 ■

部門	予選	本選
小学生	ワルツ Op.64-1 Des-dur ワルツ 遺作 e-moll ワルツ 遺作 E-dur ※任意の1曲を選択	①三つのエコセーズ Op.72-3,4,5 ②幻想即興曲 Op.66 ※どちらか1曲を選択
中学生	A.Op.25-2 f-moll, Op.10-9 f-moll B.Op.25-2 f-moll, Op.25-9 Ges-dur ※練習曲よりA、Bのどちらかを選択 上記の順番で演奏	①即興曲 第2番 Op.36 Fis-dur ②ノクターン 第5番 Op.15-2 Fis-durと マズルカ Op.56-2 C-dur (2曲とも、この順に演奏) ③ポロネーズ 第4番 Op.40-2 c-moll ※①～③より1つを選択
高校生	A.Op.25-3 F-dur, Op.10-12 c-moll B.Op.25-3 F-dur, Op.25-12 c-moll ※練習曲よりA、Bのどちらかを選択 上記の順番で演奏	①ポレロ Op.19 C-dur ②バラード 第2番 Op.38 F-dur ③スケルツォ 第3番 Op.39 cis-moll ※①～③より1曲を選択
大学生	前奏曲 Op.28 より5分以内で選曲 ※1曲でも複数曲でも可。 複数曲の場合、連番で選曲すること	13分以内のショパンのピアノ独奏曲 ※1曲でも複数曲でも可(予選演奏曲は不可)

■ 第18回 ■

部門	予選	本選
小学生	①ワルツ Op.42 As-dur ②ワルツ Op.64-2 cis-moll ③ワルツ Op.70-1 Ges-dur ※1曲を選択	即興曲 Op.29 As-dur
中学生	A. ①3つの新しいエチュード f-moll ②3つの新しいエチュード Des-dur ③3つの新しいエチュード As-dur B. ④エチュード Op.10-5 Ges-dur ⑤エチュード Op.25-1 As-dur ※A、Bより1曲ずつ選択、ABの順で演奏	ドイツ民謡による変奏曲 遺作 E-dur 即興曲 Op.51 Ges-dur ※任意の1曲を選択
高校生	A. エチュード Op.10-8 F-dur と、 エチュード Op.10-10 As-dur B. エチュード Op.10-8 F-dur と、 エチュード Op.25-5 e-moll ※A、Bどちらかを選択し、記載の順に演奏	バラード Op.47 As-dur ポロネーズ Op.53 As-dur ※任意の1曲を選択
大学生	A. エチュード Op.10、Op.25 より任意の1曲 (ただし、Op.10-3、Op.10-6、Op.25-7は除く) B. ①マズルカ Op.50-1 G-dur ②マズルカ Op.50-2 As-dur ③マズルカ Op.59-3 fis-moll ※ABより1曲ずつ選択、計2曲を演奏 ※どちらを先に演奏してもよい	15分以内のショパンのピアノ独奏曲 ※1曲でも複数曲でも可(予選演奏曲は不可)

■ 第19回 ■

部門	予選	本選
小学生	①ワルツ Op.64-3 As-dur ②ワルツ Op.69-2 h-moll ③ワルツ Op.70-2 f-moll ④ワルツ Op.70-3 Des-dur ※①～④より1曲を選択	①ポロネーズ Op.71-1 d-moll ②ポロネーズ 遺作 As-dur ③ポロネーズ 遺作 gis-moll ※①～③より1曲を選択
中学生	①ノクターン Op.15-1 F-dur ②ノクターン Op.15-2 Fis-dur ③ノクターン Op.72-1 e-moll ※①～③より1曲を選択	①スケルツォ 第2番 Op.31 b-moll ②ポロネーズ 第1番 Op.26-1 cis-moll ③ポロネーズ 第2番 Op.26-2 es-moll ※①～③より任意の1曲を選択
高校生	A. エチュード Op.25-9 Ges-dur B. ①エチュード Op.25-3 F-dur B. ②エチュード Op.25-4 a-moll B. ③エチュード Op.25-8 Des-dur ※Aを演奏後、Bの①～③より任意の1曲 を選択、計2曲を演奏	①バラード 第1番 Op.23 g-moll ②スケルツォ 第3番 Op.39 cis-moll ※①～②より任意の1曲を選択
大学生	前奏曲 Op.28 より連番で複数曲を5分以内で選曲	15分以内のショパンのピアノ独奏曲 ※1曲でも複数曲でも可(予選演奏曲は不可)

■ 第20回 ■

部門	予選	本選
小学生	①ワルツ Op.34-3 F-dur ②ワルツ Op.64-2 cis-moll ③ワルツ 遺作 e-moll (リピートあり) ④マズルカ Op.7-1 B-dur (リピートあり) ※①～④より1曲を選択	①即興曲 Op.29 As-dur ②3つのエコセーズ Op.72-3,4,5(リピートあり) ③ポロネーズ 遺作 b-moll(リピート無し、ダ・カーボあり) ※①～③より1曲を選択
中学生	①エチュード Op.10-5 Ges-dur ②エチュード Op.10-9 f-moll ③エチュード Op.25-1 As-dur ④エチュード Op.25-2 f-moll ※①～④より1曲を選択	①即興曲 Op.36 Fis-dur ②タランテラ Op.43 As-dur ③ドイツ民謡の主題による変奏曲 遺作 E-dur(リピート無し) ※①～③より1曲を選択
高校生	①エチュード Op.10-4 cis-moll ②エチュード Op.10-7 C-dur ③エチュード Op.10-8 F-dur ④エチュード Op.10-11 Es-dur ※①～④より2曲を選択、演奏順は自由	①バラード 第2番 Op.38 F-dur ②バラード 第3番 Op.4 As-dur ※①～②より1曲を選択
大学生	A. エチュード Op.10、Op.25 より任意の1曲 ※Op.10-3、Op.10-6、Op.25-7を除く B. ①マズルカ Op.59-2 As-dur ②マズルカ Op.59-3 fis-moll ③マズルカ Op.63-1 H-dur ※A Bよりそれぞれ1曲ずつ選択、 演奏順は自由	15分以内のショパンのピアノ独奏曲 ※1曲でも複数曲でも可(予選演奏曲は不可)

■ 第 21 回 ■

部 門	予 選	本 選
小学生	①ワルツ Op.18 Es-dur ②ワルツ Op.64-1 Des-dur ③ワルツ Op.69-1 As-dur ④ワルツ Op.69-2 h-moll ※①～④より1曲を選択	①ポロネーズ 遺作 As-dur(リピート無し、ダ・カーポあり) ②ポロネーズ 遺作 gis-moll (リピート無し) ③幻想即興曲 Op.66 ※①～③より1曲を選択
中学生	①ノクターン Op.15-2 Fis-dur ②ノクターン Op.32-1 H-dur ③ノクターン Op.72-1 e-moll ※①～③より1曲を選択	①ポロネーズ 第1番 Op.26-1 cis-moll (リピート無し、ダ・カーポあり) ②スケルツォ 第1番 Op.20 h-moll (リピートあり) ③スケルツォ 第2番 Op.31 b-moll ※①～③より1曲を選択
高校生	A. エチュード Op.10、Op.25より任意の1曲 ※ Op.10-3、Op.10-6、Op.25-7を除く B. ①マズルカ Op.59-1 a-moll ②マズルカ Op.59-2 As-dur ③マズルカ Op.59-3 fis-moll ※ AB それぞれより1曲ずつ選択、演奏順は自由	①バラード 第1番 Op.23 g-moll ②スケルツォ 第3番 Op.39 cis-moll ③ポロネーズ 第6番 Op.53 As-dur「英雄」 ※①～③より1曲を選択
大学生	プレリュード Op.28より連番で複数曲を選択 (5分～7分程度)	15分以内のショパンのピアノ独奏曲 ※1曲でも複数曲でも可(予選演奏曲は不可)

■ 第 22 回 ■

【中止】

部 門	予 選	本 選
小学3・4年生	A. ①小プレリュード BWV926 d-moll(J.S.バッハ) ②小プレリュード BWV927 F-dur(J.S.バッハ) ③小プレリュード BWV 934 c-moll(J.S.バッハ) ④小プレリュード BWV 938 e-moll(J.S.バッハ) ⑤小プレリュード BWV 939 C-dur(J.S.バッハ) B. ①「ポーランド小品集」よりコントルダンス (マリア・シマノフスカ) ②「ポーランド小品集」よりカドリュー (マリア・シマノフスカ) ③「子供のためのアルバム Op.39」より No.8 ワルツ (チャイコフスキー) ④「子供のためのアルバム Op.39」より No.10 マズルカ (チャイコフスキー) ⑤「子供のためのアルバム Op.39」より No.14 ポルカ (チャイコフスキー) ※ A B それぞれより1曲ずつ選択、演奏順は自由	①ポロネーズ 遺作 g-moll (リピート無し、ダ・カーポあり) ②ワルツ 遺作 As-dur (リピートあり、ダ・カーポあり)
小学5・6年生	①ワルツ Op.34-3 F-dur ②ワルツ Op.64-2 cis-moll ③ワルツ Op.69-2 h-moll ④ワルツ 遺作 E-dur ※①～④より1曲を選択	①三つのエコーゼース Op.72-3,4,5 ②即興曲 第1番 Op.29 As-dur ③ポロネーズ 遺作 gis-moll(リピート無し、ダ・カーポあり) ※①～③より1曲を選択
中学生	①ワルツ Op.42 As-dur ②ポロネーズ 遺作 b-moll (リピート無し、ダ・カーポあり) ③新エチュード 遺作 Des-dur ④新エチュード 遺作 As-dur ※①～④より1曲を選択	①スケルツォ 第2番 Op.31 b-moll ②即興曲 第2番 Op.36 Fis-dur ③ドイツ民謡の主題による変奏曲 遺作 E-dur (リピート無し) ④ポロネーズ 遺作 Ges-dur (リピート無し、ダ・カーポあり) ※①～④より1曲を選択
高校生	A. エチュード Op.10、Op.25より任意の1曲 ※ Op.10-3、Op.10-6、Op.25-7を除く B. ①マズルカ Op.63-1 H-dur ②マズルカ Op.63-2 f-moll ③マズルカ Op.63-3 cis-moll	①ロンド Op.1 c-moll ②ソナタ 第1番 Op.4 c-moll 第1楽章 ③バラード 第3番 Op.47 As-dur ④ノクターン Op.62-1 H-dur ※①～④より1曲を選択
大学生	A. エチュード Op.10、Op.25より任意の2曲 ※ Op.10-3、Op.10-6、Op.25-7を除く	13分以内のショパンのピアノ独奏曲 ※1曲でも複数曲でも可
一 般	15分以内のショパンのピアノ独奏曲 1曲でも複数曲でもよい 制限時間以内での リピートは任意	15分以内のショパンのピアノ独奏曲 ※1曲でも複数曲でも可

■ 第22回 ■

部 門	予 選	本 選
小学3・4年生	A. ①小プレリュードBWV935 d-moll(J.S.バッハ) ②小プレリュードBWV938 e-moll(J.S.バッハ) ③小プレリュードBWV 939 C-dur(J.S.バッハ) ④フーガ P.144 C-dur (バッハレベル) B. ①「ポーランド小品集」よりコントラダンス (マリア・シマノフスカ) ②「ポーランド小品集」よりカドリュー (マリア・シマノフスカ) ③「子供のためのアルバム Op.39」より No.8 フルツ (チャイコフスキー) ④「子供のためのアルバム Op.39」より No.14 ポルカ (チャイコフスキー) ※A Bそれぞれより1曲ずつ選択、 演奏順は自由	①ポロネーズ 遺作 g-moll ②フルツ遺作 a-moll ※①、②より1曲を選択
小学5・6年生	①フルツ Op.34-3 F-dur ②フルツ Op.69-2 h-moll (リピート無し) ③フルツ Op.70-1 Ges-dur ※①～③より1曲を選択	①エコセーズ Op.72-3,4,5 (各曲ともリピートあり) ②幻想即興曲 Op.66 cis-moll ③ポロネーズ 遺作 gis-moll ※①～③より1曲を選択
中学生	①エチュード Op.10-9 f-moll ②エチュード Op.25-1 As-dur ③エチュード Op.25-2 f-moll ④3つの新エチュード 遺作 f-moll ⑤3つの新エチュード 遺作 Des-dur ⑥3つの新エチュード 遺作 As-dur ※①～⑥より1曲を選択	①ノクターン Op.9-3 H-dur ②華麗なる変奏曲 Op.12 B-dur ③スケルツォ 第1番 Op.20 h-moll (リピート無し) ④スケルツォ 第2番 Op.31 b-moll ⑤即興曲 第3番 Op.51 Ges-dur ※①～⑤より1曲を選択
高校生	A. エチュード Op.10、Op.25 より任意の1曲 ※ Op.10-3、Op.10-6、Op.25-7 を除く B. ①マズルカ Op.30-3 Des-dur(リピートあり) ②マズルカ Op.33-2 D-dur(リピートあり) ③マズルカ Op.59-2 As-dur ※A Bそれぞれより1曲ずつ選択、 演奏順は自由	①マズルカ風ロンド Op.5 F-dur ②バラード 第1番 Op.23 g-moll ③バラード 第2番 Op.38 F-dur ④スケルツォ 第3番 Op.39 cis-moll ⑤ノクターン Op.62-2 E-dur ※①～⑤より1曲を選択
大学生	A. エチュード Op.10、Op.25 より任意の2曲 ※ Op.10-3、Op.10-6、Op.25-7 を除く	13分以内のショパンのピアノ独奏曲 ※1曲でも複数曲でも可
一 般	15分以内のショパンのピアノ独奏曲 1曲でも複数曲でもよい 制限時間以内でのリピートは任意	15分以内のショパンのピアノ独奏曲 ※1曲でも複数曲でも可

※表記は当時のコンクール参加要項に準じます。

北海道ショパン学生ピアノコンクール審査員
(第1回～第22回)

特別審査員

有賀 和子 井口 基成 植田 克己 エーリッヒ・アンドレアス
江崎 昌子 海老 彰子 カジメッシュ・ゲルジョード 小林 仁
属 啓成 佐野 公男 園田 高弘 田村 宏 野村 光一
伊達 純 寺西 昭子 ヘゲデウシュ・エンドレ 三善 清達
安川加寿子 ラントシュ・イシュトヴァーン

審査員

青村理恵子 秋元恵理子 浅井 智子 石田 真理 市田 みち
伊藤 巖 井上美英子 ウィリアムス 美由紀 上野(真光)孝美
魚津香代子 後山美菜子 薄井 豊美 白木 麻美 梅本 実
江田ゆかり 遠藤江里子 遠藤 道子 大川 直美 大竹 禎子
太田 恵 岡田 照幸 奥出かおり 小野 由恵 角田 裕美
影山 裕子 梶野三重子 片寄ますみ 北川 雅子 木村 雅子
國谷 聖香 熊谷 玲子 黒川 武 黒河 好子 小杉 恵
小林 まり 小林 美保 金野加代子 酒井貴志子 坂田 朋優
坂本 慶子 佐藤 睦美 澤田 一枝 白石 朋子 陣内 尚子
菅原みさ子 住友 奈苗 大門 敬明 大門由紀子 大楽 勝美
高岡 立子 高丸 直美 高垣 美加 高島真知子 高橋 妙子
滝沢(木村)かおり 田口 綾子 棚橋 妙子 谷本 聡子
谷本美智子 田村 和子 塚原(瀬野)恵美子 塚原 邦夫
辻森 公恵 梅尾 潤子 豊島 多恵 中村 玲子 中山ヒサ子
永井 洋恵 名取百合子 波塚三恵子 沼田 元一 浜田 典子
林 靖子 平野 雅子 深沢 晴美 藤森 祐子 布施谷信子
本田真紀子 前田あんぬ 松原真知子 松原 喜子 真保 響
万仲有里恵 三浦 洋 水口 真由 水田 香 水谷 澄子
森行 明子 山岡 望 山下由莉子 横路 朋子 横谷 瑛司
若狭 律 渡辺 卓

※表記は当時のコンクール参加要項に準じます。



日本ショパン協会北海道支部

- ・日本ショパン協会北海道支部について
- ・日本ショパン協会北海道支部 会員名簿

日本ショパン協会北海道支部について



- 所在地 札幌市中央区北3条西1丁目1-1 ブリックキューブ 1F
- 代表 陣内 尚子
- 設立 1973年2月
- 目的 フレデリック・ショパンおよびその芸術の理解と宣揚。
日本ショパン協会およびその各支部との相互交流により、互いに深い理解を図る。
本会は、これらの目的を遂行するために、次の事業を行う。
 - 例会、特別演奏会、公開講座などの開催。
 - 北海道ショパン学生ピアノコンクールの実施
 - 本会主催以外の、フレデリック・ショパンの作品演奏会、その他、本会の目的に沿うものに対する後援、共催、又は推薦。
 - その他、本会の目的を達成するために必要な事業。

日本ショパン協会北海道支部会員名簿

北海道支部理事

支部長 陣内尚子 副支部長 水田 香 副支部長 山岡 望

浅井 智子	阿部 昌夫	薄井 豊美	大川 直美	太田 恵
岡田 照幸	鎌倉 亮太	熊谷 玲子	坂田 朋優	佐々木達也
谷本美智子	三浦 洋	横路 朋子		

札幌会員

青村理恵子	秋元恵理子	石田 真理	後山美菜子	上野 孝美
江田ゆかり	遠藤江里子	奥出かおり	小野 由恵	角田 裕美
影山 裕子	梶野三重子	片寄ますみ	菊池 春香	北浦由花里
黒河 好子	小杉 恵	小林 美保	斉藤 香苗	佐藤 歌織
佐藤 睦美	澤田 一枝	鈴木 飛鳥	住友 奈苗	大門 敬明
大門由紀子	高垣 美加	高島真知子	高丸 直美	滝沢かおり
田口 綾子	田中 三佳	棚橋 妙子	谷本 聡子	塚原恵美子
塚原 邦夫	土井 泰志	梅尾 潤子	徳田 貴子	外山 啓介
永井 洋恵	名取百合子	二宮英美歌	八田寿美恵	濱田 典子
日向加代子	平野 雅子	藤沢しおり	本田真紀子	前田あんぬ
松原 喜子	水口 真由	水谷 澄子	山崎 美嘉	若狭 律
和久井万里				

函館会員

出雲 啓子	大坂 温子	金木 彩子	木村 佳子	久保 悦子
高 実希子	畑中 一映	畑中 佳子	村田 美子	山下美奈子
吉本 有佑	類家 唯	若佐 英子		

(2023年5月現在)

編集後記



日本ショパン協会北海道支部が創立50年という大きな節目を迎えるにあたり、記念誌の編纂を計画いたしました。1年ほど前に作成委員会を立ち上げて討議を重ねてきましたが、当支部初めての試みでもあり、古い資料や記録も少なく、編集作業は必ずしも容易ではありませんでした。そんな中で、残された例会記録やプログラム等の資料を可能な限り集積して検討する過程において、遠藤道子先生をはじめとする創立時の諸先輩の音楽に対する熱い思いに触れることができました。そして、北海道の音楽レベルを引き上げた当支部の功績を次代へ引き継いでいかなければという強い決意に支えられ、纏め上げることができました。

本記念誌の作成にあたり、多くの会員の方々には多大なご協力を賜り、本当にありがとうございました。また、事務局としてお力添えいただきました河合楽器製作所北海道支店の阿部昌夫様、鈴木幸也様、そしてデザイン・レイアウトから版下の作成までのすべてをお引き受けくださった田辺幸代様にも、深く感謝申し上げます。北海道でも、記録的な早さの桜の開花を迎えました。本誌が皆様のお手元に届くころには、若葉のまぶしい季節を迎えていることと存じます。本支部創立50年の記念として本誌をご活用いただければ嬉しい限りです。

末筆となりましたが、本記念誌の発刊にご尽力いただいた関係各位に対しまして、改めて御礼申し上げます。

大川直美

日本ショパン協会北海道支部創立50周年記念誌実行委員会

総括責任者 水田 香

実行委員長 大川 直美

実行委員 塚原恵美子 八田寿美恵 横路 朋子

事務局 阿部 昌夫 鈴木 幸也

デザイン・レイアウト 田辺 幸代